

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

# 検査部・細胞療法部 ガイドブック

第5版

使用開始日 2019年11月11日

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

改訂履歴

版	改訂内容	作成	確認	承認
1	制定	能田 2016/4/26	松田 2016/4/27	南 2016/4/28
2	IS015189 の要求事項に合わせた全面改訂	古賀 2017/2/13	鶴田 2017/2/14	南 2017/2/15
3	検査項目の一部変更に伴う改訂	坂口 2017/10/10	木村 2017/10/11	南 2017/10/13
4	IS015189 認定項目、残余検体取扱い方法についての追加、および分析装置更新、定期的な見直しに伴う改訂	山川 2018/3/26	佐々木 2018/3/30	南 2018/3/30
5	自動採血管準備装置 BC・ROBO-8001 RFID 導入に伴う改訂、中央採血室自動受付機稼働に伴う採血フローの変更、各科採血オーダーに対する注意事項の追加、時間外 Cobas 導入に伴う時間外項目の追加、定期的な見直しに伴う改訂			

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 「品質方針」

1. 検査部門は、国際規格の要求事項に基づき、一般検査、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、遺伝子学的検査、フローサイトメトリー検査、輸血検査、及び採血業務において、信頼性の高い検査結果を患者と全医療従事者に提供し、大学病院としての高度な医療に貢献する。
2. 検査部門は、品質マネジメントシステムの規格及び基準を遵守し、患者と全医療従事者の要望に応えられるよう常に良好な検査業務を実施するとともに継続的改善を図る。
3. 検査部門は、品質方針に従い、患者と全医療従事者より求められているサービスを品質目標に定め、品質マネジメントシステムの運用・維持・改善を行う。
4. 検査部門は、品質方針、品質目標を検査部門全体に周知し、全職員はこれを理解し実行する。
5. 検査部門は、品質マネジメントシステムを継続的に改善し、国際規格の要求事項に適合するよう管理運営する。

2016年11月1日 柳原克紀



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 目次

1. はじめに .....	5
2. 内線・PHS・FAX番号一覧 .....	6
3. 検査に関する留意事項とお願い .....	8
4. 緊急検査と外来迅速検体検査について .....	15
5. パニック値報告 .....	19
6. 結果報告所要時間 .....	21
7. 検体採取 .....	22
8. 測定方法と基準範囲 .....	30
8-1. 一般検査 .....	30
8-2. 血液・凝固検査 .....	31
8-3. 細胞機能検査 .....	33
8-4. 生化学検査 .....	35
8-5. 免疫血清検査 .....	37
8-6. 微生物検査 .....	41
8-7. 造血器腫瘍核酸増幅同定検査 .....	45
8-8. 細胞療法部 .....	46
9. 生理機能検査 .....	47
10. 検査依頼手順 .....	54
11. 電子カルテシステム停止時の紙伝票 .....	70
12. 外注検査一覧 (2019年9月現在) .....	74
13. 残余検体の取扱いおよび保存について .....	74
14. ISO認定項目について .....	75

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 1. はじめに

本ガイドブックは検査部・細胞療法部の院内検査全般に関して、依頼の方法、検査方法、及び結果の報告までの流れや注意点、各項目の測定法、基準範囲などをまとめたものです。検査部門では検査の過程における間違いを避け、正確、迅速な結果の報告を心がけています。御一読頂き、検査依頼や検体の取扱い上のトラブルを出来る限り減らすことができるよう、御活用いただきたいと思ひます。

検査部・細胞療法部は検査室の国際規格(ISO15189)認定を取得しています(2017年3月)。国際規格では検査室サービスの提供者(検査部門)と利用者(医療者側)の間に検査に関する合意がなされ、定期的な評価が行われることが求められています。本ガイドブックは2000年発行の初版より、検査部門における検査項目全般、検査業務の紹介や検体の取り扱いについて紹介をおこない、学生の臨床実習で使用され、イントラネットに掲載されてきました。また、臨床医、患者、医療従事者の声に応えつつ版を重ねてきました。よって、本ガイドブックは検査部門と利用者の合意形成の書となっていると考えています。

今回の改訂は国際規格における手順書として5回目の改訂であるため第5版と記載しています。引き続き皆様からのご意見・ご要望をもとに改良を加えていきたいと考えています。検査部門からの情報の発信(検査方法の変更、検査項目の変更、基準範囲の変更など)は「検査部回報」で行っていきます。「検査部回報」は医局長メール及びイントラネットへの公開などにより、従来通りの方法で周知いたします。また変更点は次回のガイドブック改訂時に反映いたします。ご意見等ございましたら、随時、担当者にご連絡ください。あるいは検査部運営委員会等でご意見いただければ幸いです。連絡先(検査部技師長 PHS 96903、検査部副部長 PHS 96907)。

2019年11月11日

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 2. 内線・PHS・FAX番号一覧

長崎大学病院検査部・細胞療法部

所在：〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1

長崎大学病院総合案内 095-819-7200

中診：中央診療棟

検査室名	所在		
サテライト検査室（血液検査）	本館 1F		
サテライト検査室（生化学検査）	本館 1F		
一般検査室	本館 1F		
中央採血室	本館 1F		
フローサイトメトリー検査室	中診 5F		
微生物検査室	中診 5F		
免疫血清検査室	中診 2F		
心電図室・呼吸機能検査室・脳波室	病棟 3F		
トレッドミル室	中診 2F		
遺伝子検査室	中診 5F		
外注検査作業室	中診 2F		
教授室	本館 12F		
検査部長室	中診 5F		
検査部副部長	中診 5F		
技師長室	中診 5F		
教員室	本館 12F		
感染対策FAX	本館 12F		
検査部カンファレンス室	中診 5F		
検査部事務受付	中診 5F		
細胞療法部輸血管理室	中診 2F		
細胞療法部副部長室	中診 2F		
細胞療法部カンファレンス室	中診 2F		
時間外検査PHS			
時間外輸血PHS			
時間外微生物PHS			

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

長崎大学病院が契約している委託検査室の所在

株式会社エスアールエル 八王子・MUQS ラボラトリー  
〒192-8535 東京都八王子市小宮町 51  
042-648-4013

株式会社 ビー・エム・エル BML 総合研究所  
〒350-1101 埼玉県川越市市場 1361-1  
049-232-3131

株式会社 LSI メディエンス 中央総合ラボラトリー  
〒174-8555 東京都板橋区志村三丁目 30 番 1 号  
03-5994-2455

※以下の検査室は ISO 15189 認定取得施設ではありません。

CRC 総合研究所  
〒813-0062 福岡市東区松島 3 丁目 29-18  
092-623-2111

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 3. 検査に関する留意事項とお願い

#### 1. 検査・採血の同意について

現在の我が国の医療環境では、個々の採血に関して同意を得ることは困難と考えられます。検査部門では、採血検査に訪れた患者に対しては、原則として、医師が検査項目、必要性、合併症、結果に関する個人情報について、少なくとも口頭で患者に説明し同意を得ていることを前提として採血・検査を行っています。合併症のフォローなどは各診療科の医師に委ねることになります。御理解・御協力のほどよろしくお願いします。

#### 2. 採血対象

中央採血室では原則として以下の患者さんを対象としています。

- ・外来患者（※ストレッチャー患者は対象外）
- ・成人患者（車椅子患者可能）
- ・医師が採血室内で採血可能と判断した患者
- ・小児は小学1年生以上の患者

#### 3. 中央採血室で対応していない検体採取

- ・動脈血および静脈血培養採血
- ・負荷試験
- ・レニン活性など指定のある安静時採血
- ・日内変動など時間設定採血
- ・救急外来患者の採血
- ・骨髓血採取
- ・体腔液、髄液、糞便などの採取

#### 4. 自動採血・採尿受付機による受付

中央採血室受付では原則として診察予約時間の1時間前に採血受付をしています。ただし以下の予約のある患者さんは優先して採血受付しています。

- ・外来化学療法
- ・造影CT・造影MRI
- ・フットケア、糖尿病療養指導、栄養指導等の看護専門外来
- ・MSC



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

- ・光学医療診療部（内視鏡など）

採尿のみの方は随時受付します。

車椅子の方、7歳未満の小児の患者さんは、自動受付機を使用せず有人受付で対応します。

原則として平成25年度より運用されている受付条件を継続しており、自動採血・採尿受付機導入に伴う受付条件等の変更はありません。

自動採血・採尿受付機による受付がエラーとなった場合は有人受付で対応いたします。

## 5. 検体採取者や介護者が行う患者の準備

中央採血室では以下の準備を徹底しています。

- ・車いすで来られた方の介助。
- ・患者の名前（フルネーム）、生年月日の確認。
- ・アルコール消毒や絆創膏に対するかぶれやすさの問診。
- ・抗凝固薬の内服の有無の問診。
- ・必要な際は免疫抑制剤を最後に服用した時間についての問診。
- ・必要な際はシャントの有無の問診。

## 6. 検体採取前に患者自身に行ってもらいたい事前準備に関する事項

\*検体検査・・・該当なし

\*生理検査・・・睡眠脳波：できる範囲で寝不足の状態をつくる

## 7. 検査の依頼について

口頭指示は受け付けていません。

検査依頼はオーダーリングシステムをご利用ください。

一部の外注検査項目を除き、全ての検体検査はオーダーリングシステムを利用したオーダーが可能です。但しオーダーリングシステムの停止時には、「電子カルテシステム停止時の紙伝票」で依頼をお願いする場合があります。

一部の検査はオーダーリングシステム内の文書入力を利用させていただきます。

骨髄検査はオーダーリングシステムでオーダー後、文書入力画面より検査申込書を作成して下さい。血液細胞マーカー検査（造血器悪性腫瘍解析）、遺伝子検査はオーダーリング画面にある解析項目および病名などのコメントを選択し依頼して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 8. 検査項目の追加・修正

検査項目を追加、修正された場合、新規ラベルが出力されます。

原則として、すべての採取容器に、新規出力されたラベルを貼りなおして提出していただきます。

【例】

元の依頼



新規ラベル発行



すでに検査部に検体が到着し、バーコードによって到着確認が実施された検体については、オーダーリングシステムでの検査項目の追加・修正はできません。このような場合は、検査部門にご連絡ください。

## 9. 時間内・時間外緊急検査

緊急性を必要とする検体のみが対象です。検査項目詳細は「4.緊急検査項目」をご参照ください。

**安易な依頼は真の緊急検査の結果報告を遅延させることに繋がります。**

ご協力お願い申し上げます。

## 10. 外来迅速検体検査加算

検査部門・医事課では、外来診療に伴う、予定された採血・尿検査のある外来患者さんにおいて、外来迅速検体加算がなされることを目標にしています。

- ・依頼された検査について当日中に検査結果が出ること。
- ・その検査結果を文書により患者へ提供し、説明すること。
- ・その検査結果に基づき診療を行うこと。

が算定条件となっています。迅速検査の項目詳細は外来迅速検体加算の項を参照ください。

診療予約のある外来患者さんにつきましては、できる限りこの方法で（検査依頼画面の外来迅速検体検査の画面から）オーダーいただくよう、お願いいたします。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 11. 採血管の準備

入院患者さんの翌日採血分の採血管準備は中央採血室にて検査技師が行い、メッセージャーが各病棟に配布しています。（金曜日には月曜日採血分を準備します。）

原則として、入院患者さんの検査オーダー締め切りは午後3時までとなっています。

\*午後3時以降に検査オーダーを行った場合は、各自にて採取ラベルを発行し、採取容器に貼っていただいています。ご了承ください。

## 12. 採血方法および、他の検体の採取時注意事項

採血について・・・検査部門「採血マニュアル」（イントラネット）を遵守しておこなっています。

採尿について・・・

- ・男性、女性を問わず、採尿コップの内側は触れないようする。出始めの尿は採尿せず、途中の尿を約100mL採尿コップに取る。
- ・女性の場合、生理中の検査は適切でないためできる限り避ける。
- ・早朝尿は濃縮されており、検査に適している。定性、定量、尿沈渣、細菌検査など。
- ・外来患者の多くは随時尿検査となり、早朝尿に比べ希釈されている。
- ・蓄尿は24時間蓄尿を行う。蓄尿容器は直射日光を避けて冷暗所に保存する。

髄液について・・・

- ・髄液と血液生化学検査は対として検査に用いられることが多く、同時検査が望ましい。
- ・癌細胞浸潤を検査する場合は出来る限り多くの髄液を採取する必要がある。
- ・しかし採取量は腰椎穿刺の手技、その他の手技、患者の状態にも依存する。
- ・採取後は出来るだけ早く検査室へ提出する。

## 13. 検体採取の特別なタイミングが必要な場合

\*検体検査

- ・血糖負荷試験：病院糖尿病ケアマニュアル第5版(2016年3月)に準ずる。

([http://intranet.mh.nagasaki-u.ac.jp/intranet/manual/tounyou\\_manual.html](http://intranet.mh.nagasaki-u.ac.jp/intranet/manual/tounyou_manual.html))

\*生理機能検査

- ・心電図マスター負荷：主治医の同伴と指示のもと運動負荷後に検査施行する。
  - ・呼吸機能薬剤負荷：主治医の同伴と指示のもと薬剤投与前後で検査施行する。
  - ・脳波薬剤睡眠：検査30分前に診療科で薬剤投与を受ける。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

#### 14. 検体採取者、採取日、および必要な場合には採取時間の記録方法

- 検体採取者、採取日は採血管準備システムのログに残っているので、必要時にはプリントアウトする。
- 採取時間は検査システムのログに残らないため到着時間にて採血時間を割り出す。

#### 15. 検体採取時に使用した機材の安全な廃棄方法

- 採血針とホルダー、使用したアルコール綿は各採血ブースに設置してあるバイオハザードボックスに廃棄する。
- 手袋や採血針の外包、アルコール綿の外包は非感染廃棄物（オレンジ袋）へ廃棄する。
- 血液で汚染した手袋はバイオハザードボックスへ廃棄する。
- 原則として院内感染対策マニュアルに準ずる。

#### 16. 検体の提出

検体受付時間		
時間内検査	8：15～16：00	（受付可能時間）※
外来迅速検体検査		
時間内緊急検査	16：00～翌日 8:15	（分析可能時間）
時間外緊急検査（平日）		
時間外緊急検査（土・日・祝日）		
	24 時間	（分析可能時間）

※時間内検査の検体検査機器は平日 16:00 よりメンテナンス、洗浄、シャットダウン等を行います。よって受付時間終了間際に届いた検体は翌日測定になることがあります。

ただし、この間も時間外緊急検査項目は全て緊急扱いで結果報告を行っています。

緊急検査項目以外の検査で、緊急性・重要性が高いと判断された個別の検体につきましては各検査室にご相談ください。

検査実施は 365 日体制（8：30～17：15）で運用しています。

中央採血室受付：平日 8：15～16：00（外来患者のみ）

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

微生物検査室については以下の運用となります（365日体制で運用しています。）

検体受付時間	検体提出先	当日受付当日報告検査について
8:30~17:15	中央診療棟 5階 微生物検査室	一般細菌塗抹検査：16時到着分まで実施報告。 抗酸菌塗抹検査：15時到着分まで実施報告（但し、土日祝は除く）。 抗原検査：16時到着分まで実施報告。
17:15~翌日8:30	病院本館 1階 サテライト検査室	インフルエンザウイルス抗原検査のみ実施報告。

※緊急性が高いと判断された検体については直接検査室までご相談ください。

業務を円滑にするため、検体の受付可能時間に関しましてご理解・ご協力をお願いいたします。

## 17. 検体搬送条件

検体搬送担当者と検体受付者は以下を遵守する。

- ・採取後の検体を検査部門まで搬送する際の、温度その他の条件は検体ラベルの記載に従う。
- ・検体ラベルに遮光と表示されていればアルミホイルを採血管に巻く。
- ・同様に氷冷とあればすぐに検査技師へ伝え氷冷容器に入れる。
- ・血液ガスの検体は専用ラックに立ててすぐに検査技師へ伝える。

## 18. 受付不可検体について

検体の状態が以下の条件等を満たす場合、検査が正しく実施出来ないため、再提出をお願いする場合や参考値として結果報告する場合があります。

- 1) 溶血あるいは凝固している検体。
- 2) 採取容器やオーダーラベルが間違っている場合。
- 3) 採取量不足、特に凝固線溶検査の採取血液量が±10%以上の場合。
- 4) 保存状態、搬送状態が（冷蔵・氷冷・遮光などがされていない等）不適切な場合。
- 5) 尿検体が不適切（早朝尿、随時尿、蓄尿などの条件が満たされていない）な場合。
- 6) 血液型とクロスマッチ用検体が同時採血されている場合。
- 7) 血液細胞マーカー検査において、極端に凝固している場合や凍結保存されている場合。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 19. 結果の報告・お問い合わせ

検査全般に関する問い合わせについて、単なる検査結果照会には原則として応じておりません。電子カルテの結果参照画面をご利用ください。

ただし、種々のアドバイスが可能な場合もあります。次項をご参照下さい。

次の場合など、検査結果報告が遅れることがあります。

- ・再検査測定の場合。 ・休日にかかった場合。 ・検体到着が遅れた場合。
- ・分析機器、コンピュータシステムの故障（この場合依頼科に連絡します）。

## 20. アドバイスサービス

検査部門では、各分野の検査業務の主任または実務経験が十分な検査職員で、検査部の医師が承認した者をアドバイスサービスが実施できる職員（アドバイスサービススタッフ）としています。

検体採取時の採取容器の選択、検体の種類、検体採取法、検体の保存方法、検査結果報告時間、電子カルテ端末での検査依頼の方法などに加え、個々の臨床症例における助言、検査結果の解釈における専門的判断が可能なスタッフです。利用者からの要望の内容に応じて、PHS、直接口頭またはメールで回答いたします。電子カルテにコメントを残す場合もあります。

疑問、質問等ございましたら、できる限りお手伝いさせていただきます。

## 21. 個人情報の保護に関する検査室の方針

・長崎大学病院「病院における個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）」に則り、厳重な管理の下に情報の機密を維持管理します。

- ・受付からの患者呼び出しは、長崎大学病院「外来標準業務マニュアル」に則って行います。

## 22. 検査部門での苦情の受付方法、および処理手順

・検査部門における苦情や要望に対する対応は、検査部門ISO15189における「苦情および要望等対応手順書」に則り対応します。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

#### 4. 緊急検査と外来迅速検体検査について

##### 緊急検査項目比較

【時間内緊急検査及び 外来迅速検体検査】	【時間外緊急検査】	【時間内緊急検査及び 外来迅速検体検査】	【時間外緊急検査】
8:15 - 16:00	16:00 - 8:15	8:15 - 16:00	16:00 - 8:15
血球計数	血球計数	造影前腎機能検査	
(白血球分類)	白血球分類	Cre、eGFR セット	
(網赤血球・網血小板)	網赤血球・網血小板	AST	AST
赤血球沈降速度		ALT	ALT
出血時間		ALP	ALP
PT	PT	CHE	CHE
(APTT)	APTT	LDH	LDH
(フィブリノーゲン)	フィブリノーゲン	CK	CK
(AT-Ⅲ)	AT-Ⅲ	(CK-MB)	CK-MB
血漿 FDP	血漿 FDP	γ-GTP	γ-GTP
血漿 D ダイマー	血漿 D ダイマー	血糖	血糖
(α2-PI)		CRP	CRP
(プラスミノゲン)		高感度対応 CRP	
(プロテイン C 活性)		(毛細管 CRP:小児科)	毛細管 CRP:小児科
セット Na, K, Cl	セット Na, K, Cl	(Fib4)	Fib4
Na	Na	グリコアルブミン	
K	K	血中アンモニア	血中アンモニア
Cl	Cl	血液ガス (動脈、静脈)	血液ガス (動脈、静脈)
(無機リン)	無機リン	Lactate (動脈、静脈)	Lactate (動脈、静脈)
Ca	Ca	Ca <sup>2+</sup> (動脈、静脈)	Ca <sup>2+</sup> (動脈、静脈)
尿素窒素	尿素窒素	COHb (動脈、静脈)	COHb (動脈、静脈)
クレアチニン	クレアチニン	尿定性検査	尿定性検査
尿酸	尿酸	尿沈査検査	
(アミラーゼ)	アミラーゼ	(インフルエンザ AB)	(インフルエンザ AB)
(P-アミラーゼ)	P-アミラーゼ	便中ヘモグロビン	
(Mg)	Mg	TSH	TSH
総蛋白	総蛋白	Free-T3	Free-T3
アルブミン	アルブミン	Free-T4	Free-T4
総 Bil	総 Bil	CEA	CEA
(直接 Bil)	直接 Bil	AFP	AFP
総コレステロール	総コレステロール	T-PSA	T-PSA
HDL コレステロール	HDL コレステロール	F-PSA	F-PSA
LDL コレステロール	LDL コレステロール	F/ T 比	F/ T 比
中性脂肪	中性脂肪	CA19-9	CA19-9
血清鉄		CA125	CA125
不飽和鉄結合能		intact-PTH	intact-PTH
HbA1c		サイログロブリン	サイログロブリン

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

【時間内緊急検査及び 外来迅速検体検査】	【時間外緊急検査】	【時間内緊急検査及び 外来迅速検体検査】	【時間外緊急検査】
8:15 - 16:00	16:00 - 8:15	8:15 - 16:00	16:00 - 8:15
尿中 Na	尿中 Na	コルチゾール	コルチゾール
尿中 K	尿中 K	HCG+β	HCG+β
尿中 Cl	尿中 Cl	エストラジオール	エストラジオール
尿中無機リン	尿中無機リン	progesterone	progesterone
尿中クレアチニン	尿中クレアチニン	黄体形成ホルモン	黄体形成ホルモン
尿中尿酸	尿中尿酸	卵胞刺激ホルモン	卵胞刺激ホルモン
尿中尿素窒素	尿中尿素窒素	prolactin	prolactin
尿中アミラーゼ	尿中アミラーゼ	ferritin	ferritin
尿中P-アミラーゼ	尿中P-アミラーゼ	NT-proBNP	NT-proBNP
尿中 NAG		高感度トロポニン T	高感度トロポニン T
尿中蛋白	尿中蛋白	insulin	insulin
尿糖	尿糖	C-peptide	C-peptide
		procalcitonin	procalcitonin

注1. 時間内緊急検査は入院患者さんの緊急検査、外来迅速検査は外来患者さんの検査用としてご理解ください。

注2. 上記の検体は、いずれも緊急検査検体として優先的に行っており同様の扱いをしています。採血管の扱いも同様に行います。

注3. 時間内と時間外の項目の違いにご注意ください。

注4. 時間内緊急検査及び外来迅速検査におけるカッコ付の項目は本来外来迅速検査加算の対象ではありませんが、当日中に結果が出揃い、診療に役立つことが多いため、オーダーリングに含めています。

(カッコのないものが本来の加算項目となります。) 詳細は次項を参照ください。



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 外来迅速検体検査 - 項目及び結果報告時間の目安

外来迅速検体検査項目		報告時間の目安
一般検査		
尿定性		約 30 分
尿沈渣：機器分類		
尿沈渣：目視鏡検分類		約 60 分
糞便中ヘモグロビン		約 30 分
血液検査		
血球計数		約 30 分
(白血球分類：機器分類)		
(白血球分類：目視鏡検分類)		約 60 分
赤血球沈降速度測定		約 60 分
ヘモグロビン A1c		約 30 分
(網赤血球)		
凝固・線溶検査		
PT、血漿FDP、Dダイマー		約 60 分
(APTT、Fib、AT-Ⅲ、 $\alpha$ 2-P1、PLG、プロテインC)		
(出血時間)		約 30 分
生化学検査		
蛋白分画、ICGを除く、生化学検査項目すべて		約 60 分
尿中電解質など		
尿中Na、K、Cl、無機リン、Ca、UN、Cre、UA、アミラーゼ、pアミラーゼ、NAG、タンパク、糖、FDP		約 60 分
免疫血清検査		
Free-T3、Free-T4、TSH、CRP、 CEA、 $\alpha$ -フェトプロテイン、PSA、CA19-9		約 60 分
甲状腺：サイログロブリン、副甲状腺：intact-PTH 性腺・胎盤：HCG+ $\beta$ 、エストラジオール、プロゲステロン 下垂体：黄体形成ホルモン、濾胞刺激ホルモン、プロラクチン 腫瘍マーカー：CA125、Total-PSA、Free-PSA、Free/Total比		約 60 分
その他：フェリチン、NT-proBNP、高感度トロポニンT)		約 60 分
微生物検査		
細菌性抗原検査	ウイルス性抗原検査	約 60 分
(大腸菌 O-157)	(ロタウイルス)	
(A群溶連菌)	(アデノウイルス：便、咽頭、眼)	
(尿中レジオネラ)	(RSウイルス)	
(尿中肺炎球菌)	(インフルエンザウイルス)	
(髄液中抗原検査)	(ヒトメタニューモウイルス)	
(CDトキシン)		
(マイコプラズマ抗原)	(ノロウイルス抗原定性：便)	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 注意事項

外来迅速検体検査オーダーは、時間内緊急検査と同じ扱いです。時間内緊急検査及び外来迅速検体検査の依頼画面から依頼してください。

カッコ内の項目は本来、外来迅速検体加算の対象ではありませんが、当日中に結果が出揃い、診療に役立つことが多いため、オーダーリングに含めています。

\* 生化学検査では前項のカッコのないものが本来の加算項目ですが、ほぼ全ての項目を外来迅速検査可能項目として対応しています。

外来迅速検体検査加算の例

例 1) 血算+外来迅速検体検査以外の項目

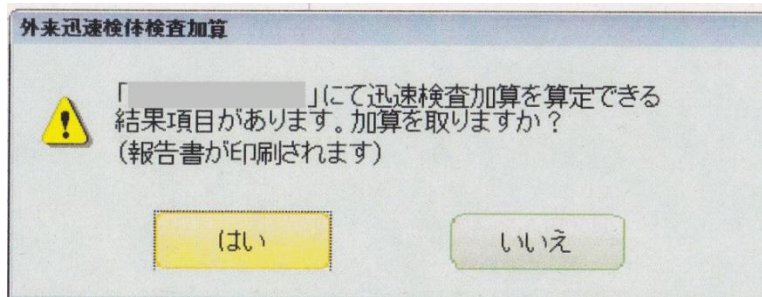
→ 当日中に結果が揃えば算定可能です。

例 2) 血算+生化学+2-3日要する外注検査

→ 血算+生化学が迅速検体のオーダーであり、

当日中に結果が揃っても外注項目が時間を要するため算定できない場合があります。

- 下記の画面が出た際はこれらの結果で加算が可能と判断された場合です。  
「はい」を選択してください。



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 5. パニック値報告

新患で下記のパニック値が出た場合原則として電話連絡後、FAX いたします。

### 1. 血液検査

WBC	$1.5 \times 10^3 / \mu\text{L}$ 以下	$30.0 \times 10^3 / \mu\text{L}$ 以上
Hb	7.0 g/dL 以下	20.0 g/dL 以上
PLT	$30.0 \times 10^3 / \mu\text{L}$ 以下	$700.0 \times 10^3 / \mu\text{L}$ 以上

白血病細胞など：新患のみ

(血液内科の血液検査パニック値に関しては原則として電話・FAX いたしません。)

※旧患の場合、前回値 (1 ヶ月以内) と比較して電話連絡・FAX しない場合もあります。

### 2. 生化学検査

Na	120 mmol/l 以下	160 mmol/l 以上
K	2.5 mmol/l 以下	6.5 mmol/l 以上
Cl	85 mmol/l 以下	120 mmol/l 以上
Ca	6.0 mg/dL 以下	16.0 mg/dL 以上
Glucose	50 mg/dL 以下	600 mg/dL 以上
血中アンモニア		200 N- $\mu\text{g/dL}$ 以上

※旧患の場合、前回値 (1 週間以内) と比較して電話連絡・FAX しない場合もあります。

### 3. 血液ガス検査

動脈血		
pH	7.25 以下	7.55 以上
O <sub>2</sub>	50 mmHg 以下	

※旧患の場合、前回値 (1 週間以内) と比較して電話連絡・FAX しない場合もあります。

### 4. 微生物検査

無菌性材料 (血液、髄液) より菌が初めて検出された場合。

※旧患の場合、前回値 (1 ヶ月以内) と比較して電話連絡・FAX しない場合もあります。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## パニック値の報告

電話連絡は下記の順序で行います。

① 依頼医の PHS あるいは主治医の PHS

② 該当患者の病棟の看護師長、副看護師長  
あるいはリーダー看護師

入院患者及び中央診療施設患者については、検査依頼された場所へ FAX 送信いたします。  
また、外来患者については診療された階へ FAX 送信いたします。

報告確認書に署名いただいた後 FAX 又はエアーシューターで返信をお願いしています。  
返信されたパニック値報告確認書は各検査室で保存いたします。

\* 当日中に返信が無い場合は、督促の電話連絡を致します。

緊急検査の場合は依頼医が結果報告を確認している前提にたっており、  
原則としてパニック値報告いたしません。ご了承ください。

上記についてのお問い合わせは、検査部サテライト検査室、あるいは微生物検査室へ  
お願いいたします。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 6. 結果報告所要時間

一般検査	
検査項目	所要時間
尿定性	約 30 分
尿沈渣*	当日中
便潜血	当日中
関節液(結晶鑑別)	当日中

\*外来検体を優先して検査を実施します。

血液検査	
検査項目	所要時間
血球計数	約 1 時間
白血球分類(機器分類)	約 1 時間
白血球分類(目視分類)	当日中
凝固・線溶検査	約 3 時間
凝固第 8・第 9 因子活性・FMC	当日中
赤血球抵抗試験	2~5 日
クロスミキシング	2~5 日
赤血球沈降速度測定	約 2 時間
血液細胞マーカー検査	当日中
ALP 染色	当日中
骨髓検査(骨髓像)	約 1 週間

生化学検査	
検査項目	所要時間
一般生化学	当日中
蛋白分画	当日~3 日
アンモニア	約 30 分
血液ガス	約 10 分
ICG	当日中
出血時間(Duke 法)	当日中

免疫血清検査	
検査項目	所要時間
免疫血清検査(下記検査以外)	当日中
HBe 抗原 HBe 抗体	当日中(水・金)
sIL-2R	当日中
抗 ENA 抗体	当日中
抗 CCP 抗体	当日中
PR3-ANCA、MPO-ANCA	当日中
マイコプラズマ抗体	当日~7 日
抗核抗体	当日~7 日
免疫電気泳動	当日~7 日
寒冷凝集反応	当日~7 日

細胞療法部	
血液型, 不規則抗体	当日中
その他の検査	当日中
血液型亜型検査	7~14 日

微生物検査	
検査項目	所要時間
一般細菌(MRSA、GBS 含む) および真菌培養検査 (塗抹、同定、薬剤感受性検査)	当日~14 日
抗酸菌培養検査 (塗抹、同定、薬剤感受性検査)	当日~8 週間
抗酸菌 PCR 検査	2~10 日
各種抗原検査( $\beta$ -Dグルカン、真菌、 細菌およびウイルス)	当日~5 日

遺伝子検査	
検査項目	所要時間
造血器腫瘍核酸増幅同定検査	
HTLV-1 (Southern blot 法)	5~14 日
HTLV-1 定量	3~14 日
WT1 定量	4~14 日
bcr-abl	4~14 日
bcr-abl 変異解析	4~21 日
PML-RAR $\alpha$	4~14 日
Major bcr-abl IS	4 日~次回外来
FLT3-ITD 変異解析	3~21 日
JAK2 変異解析	3~14 日
CALR 変異解析	3~14 日
免疫関連遺伝子再構成	
IgH 再構成 JH probe (Southern blot 法)	5~14 日
IgH (CDRIII) 再構成(PCR 法)	3~14 日
TCR $\beta$ 鎖再構成 c $\beta$ 1probe (Southern blot 法)	5~14 日
TCR $\gamma$ 再構成(PCR 法)	3~14 日
悪性腫瘍遺伝子検査	
RAS・BRAF 変異解析	4~14 日

生理検査	
検査項目	所要時間
心電図検査	約 10 分
微小心電図検査(LP 検査)	約 30 分~1 時間
血圧脈波測定検査(ABI)	約 20 分
呼吸機能検査(術前)	約 20 分
呼吸機能検査(全項目)	約 1 時間
脳波検査(覚醒)	約 40 分
脳波検査(睡眠)	約 1 時間

検体が検査部門に届き、受付確認されてからの所要時間です。  
いずれの項目も受付時間終了間際に到着した検体は翌日の検査になることが  
あります。  
緊急を要する場合は各検査室に個別にご相談下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 7. 検体採取

検体取り扱い上の注意： 検体の採取容器は決められたものを使用し、検体は採取時及び採取後を通して正しく取り扱うようお願いします。誤った取り扱いは検査結果に影響を与えることがあります。

採取容器名と同一の採取容器を使用して下さい。特に氏名、採取日、検体種を十分確認して下さい。採取ラベルの種類は以下の通りです。

### 採取ラベル



左：白ラベル  
(各病棟・外来で発行)

右：ピンクラベル (RFID)  
(中央採血室で発行)

#### 《注意点》

##### ①貼り直し厳禁!!

ピンク色ラベルには IC チップが内蔵されています。剥がして別の採血管に貼り付けると IC チップが破損してしまうため、貼り直しは絶対にしないで下さい。また、ピンク色ラベルの上から白色ラベルを重ねて貼る事も絶対にしないで下さい。採り直しをする場合は白色ラベルを再発行し、新しい採血管に貼って採血して下さい。その際、ピンク色ラベルが貼られていた採血管は、破棄するか採り直した検体と輪ゴムで括って提出して下さい。

##### ②磁気を近づけない!!

強力な磁気が近づくと IC チップが破損する場合がありますので、磁気には近づけないで下さい。

##### ③ラベルに対して強い力をかけない!!

IC チップの破損を避けるため、ぶついたり落としたりしないよう注意して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

採取ラベルの記載事項は下図の通りです。

中央採血室で発行された時間内緊急検査・外来迅速検体検査・時間外緊急検査の検体はラベルの左端に黒線が印字されます。（※外来・病棟で発行されたラベルには印字されません。）

① 生化	④ テスト イチロウ	⑨ 3/1	⑩ 緊
② 一内	④ テスト 一郎	⑪ 00:00	
③ G	⑥ 01 ⑤ 01234567	⑦ 依頼コ	⑧ 固定コ ★⑫
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           バーコード         </div>			
⑬ 分離剤入	⑮ OMMDD129999	⑰ 120分	
⑭ 血液	⑰ 7.0ml	⑱ 3<5	計11

- ①ラベル提出先    ②部署/病棟            ③入院（N）/外来（G）    ④患者氏名（カナ・漢字）
- ⑤患者 ID            ⑥ラベル通し番号    ⑦依頼コメント            ⑧固定コメント（氷冷など）
- ⑨採取日            ⑩緊急マーク            ⑪採取時間            ⑫感染マーク
- ⑬採取容器            ⑭採取検体            ⑮採取番号            ⑯検体採取量
- ⑰負荷時間            ⑱負荷検査（負荷検体番号<総負荷検体数）    ⑲総検体数

### 採血上の注意

- ・検体採取量・・・・・・・・検体採取量はオーダーラベルの下に記載されています。  
検体量に不足のないように採取して下さい。
- ・抗凝固剤との混和・・・・・・・・抗凝固剤入り採取容器は採血後、直ちに5～10回転倒混和して下さい。
- ・分離剤入り採血管・・・・・・・・分離剤入り採血管は、確実に凝固させるために採血直後、5回以上転倒混和して下さい。
- ・採取容器・・・・・・・・採取容器は、採取容器一覧を参照して下さい。
- ・輸液、輸血時の採血・・・・輸液、輸血時には、その影響を避けるために反対側の静脈より採血して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

\*ラベルの貼り方

【正しい貼り方】



【不適切な貼り方】



例) 横向き、位置が上過ぎ、下過ぎ、ななめ、しわ等

ラベルは栓下に約1 cm 下の位置より真下に、垂直に貼って下さい。そのまま測定機器で測定しますので、ラベルを極端に上下や斜めに貼るとバーコード認証が困難になります。

抗凝固剤の種類と特徴

抗凝固剤	抗凝固作用	用途
ヘパリン	アンチトロンビンⅢの抗トロンビン作用、抗Xa作用などの促進作用による	適用：電解質、緊急生化学、血液pH、ガス分析、リンパ球検査、造血器悪性腫瘍検査 不適：蛋白分画、膠質反応
EDTA	Caイオンとのキレート生成	適用：血液検査（全検体の約0.04～0.07%において、血小板凝集塊形成による偽血小板減少がおこる）、血漿補体価 不適：血小板凝集能検査、血液pH、一般生化学
クエン酸ナトリウム	Caイオンとの結合	血球容積が変化する 適用：血沈、血液凝固検査 不適：一般生化学、免疫血清検査
フッ化ナトリウム (解糖阻止剤)	Caイオンとの結合解糖経路のエノラーゼ活性を阻害	適用：血糖測定 不適：一般生化学（種々の酵素を阻害するため）免疫血清検査



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 採血項目と採取容器（1）

検査項目	管の色	採取量 (ml)	管サイズ (mL)	抗凝固剤、分離剤	ラベル記載
血球計数・白血球分類 *1	薄紫	2	5	EDTA-2K	紫検血
凝固、線溶 *2	黒	1.8	5	3.2%クエン酸ナトリウム	黒凝固
クロスミキシングテスト *2	黒	3.6 (2本)	5	3.2%クエン酸ナトリウム	黒凝固
赤血球抵抗試験 *3	緑	5	5	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ
血液細胞マーカー検査 (末梢血) *4	緑	5	7	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ
血液細胞マーカー検査 (その他の検体: 骨髄やリンパ節など)		適量			材料別 *5
赤血球沈降速度 (血沈) *6	透明	1.12		3.8%クエン酸ナトリウム	血沈
一般生化学	水色	6	7	分離剤入	分離剤入
生化学	緑	4	7 (5)	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ
グルコース	灰	2	5	フッ化ナトリウム	灰血糖用
グリコヘモグロビン	灰	2	5	フッ化ナトリウム	灰血糖用
血液ガス		2	注射器	ヘパリンリチウム	血ガス用
尿 *7		10			スピッツ
便中ヘモグロビン *8		適量	糞便専用容器		便 Hb
アンモニア	緑	4	7 (5)	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ
免疫血清	水色	6	7	分離剤入	分離剤入
毛細管CRP (小児)		1~2本			毛細管
intact-PTH	黄	2	5	EDTA-2Na	EDTA-2N
β-D-グルカン	赤	2		ヘパリンナトリウム	EG管
微生物抗原 (カンジダ・クリプト・アスペル抗原)	水色	3	7	分離剤入	分離剤入
遺伝子	黄色	10~15	5	EDTA-2Na	EDTA-2N
輸血検査 (血液型など)	薄紫	6	7	EDTA-2Na	EDTA: 7ml
輸血前保存検体	水色	6	7	分離剤入	分離剤入
細胞療法部特殊検査 *9	緑	6	7	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ
抗A, 抗B抗体価	水色	6	7	分離剤入	分離剤入
血液細胞マーカー検査 (末梢血)	緑	5	7	ヘパリンナトリウム	緑ヘパリ

\*1. EDTA依存性血小板減少症が疑われる場合は、「血液・凝固・骨髄」オーダー画面の【血球計数 2】より、血球計数（緑ヘパリ）をオーダーし、直ちに検査室へ提出して下さい（白血球分類には使用できません）。

\*2. 黒凝固採血管は、白線に合わせて採血してください。許容量は1.8mL±0.2mLです。

\*3. 健常人コントロールとして、緑ヘパリ採血5mLが必要です。  
（貧血、多血のない方。血液型は問いません。）

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

- \*4. T-cell サブセット、T・B-cell 分類をオーダーされる場合は、CD4実数計算のため血算および白血球分類を同時にオーダーし、検体採取後はできる限り速やかに提出して下さい。
- \*5. 検体の種類（骨髄血、リンパ節、体腔液等）に応じ、適宜容器を選択して提出して下さい。
- \*6. 血沈採血管は、採血許容幅が線で表示されています。2本の線の間に入るように採血して下さい。
- \*7. 蓄尿を提出する際は凍結または冷蔵で保存しながら蓄尿して下さい。室温で蓄尿した検体や、防腐剤として塩酸やホルマリンを用いた検体は原則として測定不可です。
- \*8. 採便容器は、採便棒先端の溝が埋まる程度で表面全体を採便し容器に戻して下さい。
- \*9. 細胞療法部特殊検査（Donath-Landsteiner試験、Ham試験、Sugar-Water試験）には健康人コントロールとして同じ血液型のプレーン採血10mlが必要です。

## 採血項目と採取容器（2）

### 微生物培養検査における材料の採取法

	材料	採取容器	採取量	ラベル記載	備 考
呼吸器	喀出痰	滅菌痰コップ	2~5ml	痰コップ 喀出痰	採取前にうがいをし、口腔内を十分に清潔にする
	咽頭・鼻腔	滅菌綿棒		綿棒 咽扁桃 綿棒 鼻腔分	
	気管支鏡下 採痰	滅菌試験管	1~2ml	試験管 気採痰	
尿路	中間尿 カテーテル 尿など	滅菌試験管	5~10ml	試験管 カテ尿 試験管 中間尿	採取部位を消毒後採尿する。淋菌を疑う場合には冷蔵保存はしない。
消化器	便	嫌気ポーター、 綿棒	拇指頭大 (3~5g)	嫌気ポ 便	食中毒等が疑われる場合、検査室に連絡
	胆汁	滅菌試験管	5~10ml	試験管 胆汁	
血液・ 穿刺液	血液	血液培養 ボトル	小児：2~4ml	血培養 動脈血 血培養 静脈血	好気用ボトル（黄色）のみ
			成人：5~10ml		好気用（緑色）・嫌気用（紫色）の各ボトルに入れる。10mlを超える採血量は偽陰性を招く恐れがある。
	髄液	滅菌試験管	4~6ml	試験管 髄液	時間外において髄膜炎菌を疑う場合には、血液培養ボトルに入れ、サテライト検査室へ提出する
	胸水・腹水 関節液など	滅菌試験管	5~10ml	試験管 腹水	
膿・分泌物	眼・耳・皮膚 創部・生殖器 など	滅菌綿棒		綿棒 分泌物 綿棒 非開膿 綿棒 開性膿	
臓器・ 組織	リンパ節 皮膚・肺など	滅菌試験管		試験管 臓組織	乾燥を防いで直ちに提出
カテ先	カテ先・I V Hなど	滅菌試験管		試験管 カテ先	乾燥を防いで直ちに提出
その他	人工弁・縫合 糸 その他	滅菌試験管			乾燥を防いで直ちに提出

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

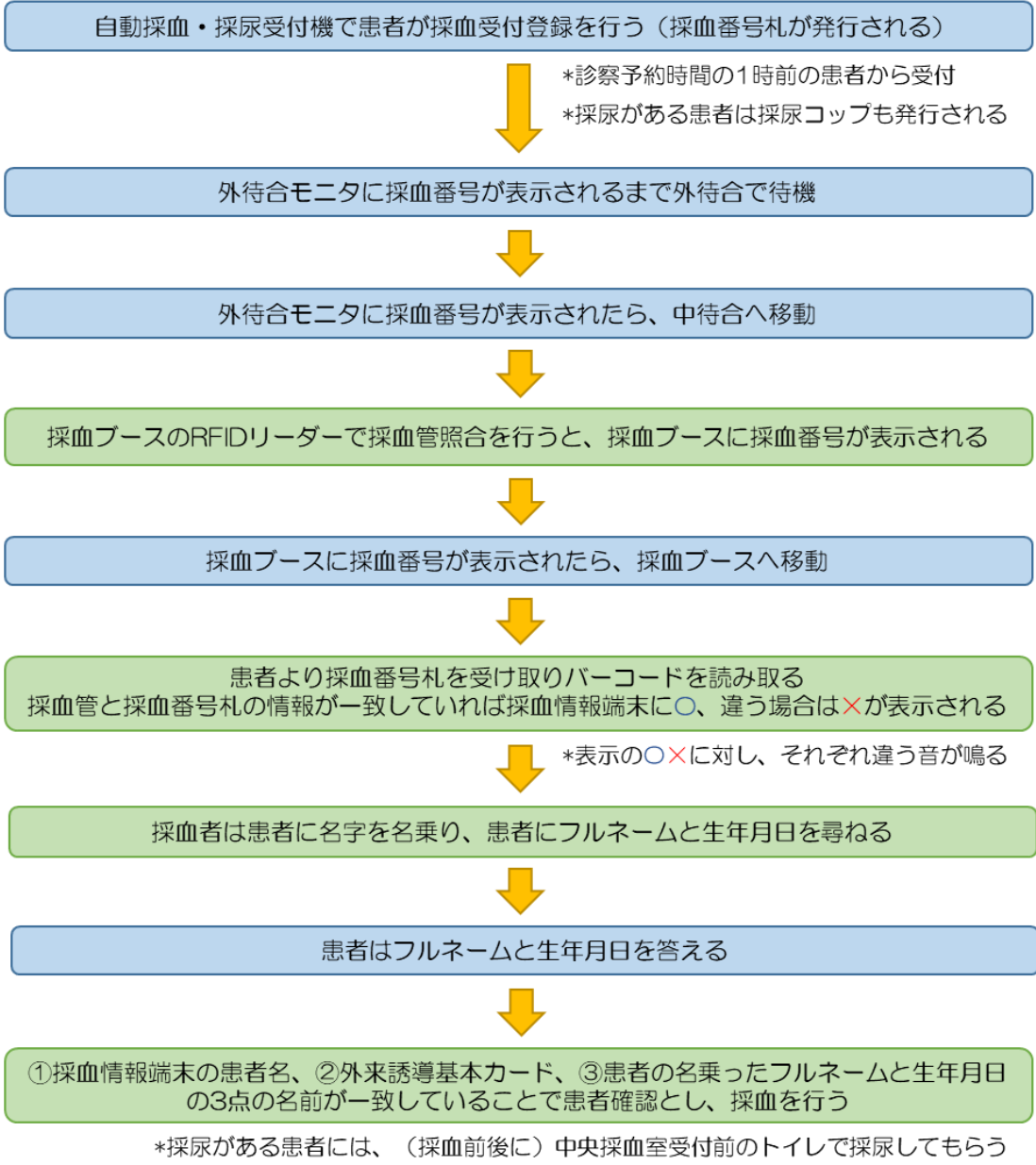
### 採血項目と採取容器 (3)

ラベル表記	採取容器	備考	ラベル表記	採取容器	備考
本人	出血時間の検査時、ラベルを患者持参		SRL-H00	骨髓液保存用	ピンク色の保存液入り、申込用紙提出
標本	骨髓血塗抹標本		SRL-XCO	結石専用容器 尿スピッツで可	
試験管	滅菌試験管	SPD	SRL-PAP	紫色ゴムキャップ EDTA-2Na +アプロチニン入り	
ヘリコ	ヘリコバクター ピロリ専用滅菌試験管	SPD	SRL-PC5	黒色キャップ 3.2%カク酸ナトリウム溶液入り 4.5ml用	
痰コブ	滅菌痰コブ	SPD	SRL-SZZ	赤色ゴムキャップ アルミニウム専用容器	開栓厳禁
綿棒	滅菌綿棒	SPD	SRL-S5F	赤色キャップ ウイルス遺伝子用	開栓厳禁
血培養	血液培養ボトル (好気 用、嫌気用、小児用)	SPD	SRL-U10	淋菌・クラミジア (尿・うがい液検体用)	
EG管	E・Gチューブ	SPD	SRL-U50	黄色ゴムキャップ 尿中ミオグロビン専用容器	矢印線範囲内で採取
嫌気ポ	嫌気ポーター	SPD	SRL-V30	水・帯ヘルペス、単純ヘルペ スウイルス抗原検査用	スライドグラスに病 巣基底細胞を塗抹
BML-B18	黄色キャップ ヘパリンNa入り 10ml採血管		SRL-V50	淋菌・クラミジア (子宮頸管用)	
BML-B19	難聴遺伝子用	申込用紙提出	SRL-V60	ヒトパピローマウイルス DNA	
BML-B29	黄色ゴムキャップ ACD溶液入り採血管	2本必要	外随時尿	スピッツ (10ml用)	
BML-B32	茶色ゴムキャップ ウイルス遺伝子用	開栓厳禁	外スピッツ	スピッツ (10ml用)	
BML-B34	遮光EDTA管		外蓄尿	スピッツ (10ml用)	蓄尿量をラベルに記載
BML-F1	糞便一般採取容器		外酸蓄尿	スピッツ (10ml用)	酸性リグザートを使用し て蓄尿 蓄尿量をラベルに記載
BML-LBC	HPV ジェノタイプ 判定用		外フレーン	茶色キャップ 分離剤なし	
BML-X2	骨髓液保存用 ピンク色の保存液入り	申込用紙提出	外分離剤	水色キャップ 分離剤入り	
EDTA5	黄色キャップ EDTA-2Na 5ml用		外緑ヘパ	緑色キャップ ヘパリンナトリウム入り	
EDTA7	紫色キャップ EDTA-2Na 7ml用		血小板フレン	茶色キャップ 分離剤なし	日赤申込用紙提出
LSI-32	呼吸バッグ コービット用	前と後と2本 必要、時間記入	骨髓液用	骨髓液保存用	ピンク色の保存液入り
LSI-62	赤色キャップ ウイルス遺伝子用	開栓厳禁	除蛋白液	除蛋白液入り 10mlスピッツ 1mlの 血液添加後攪拌	
LSI-64	遮光ヘパリンNa 5ml採血管	遮光で提出	除蛋白液	除蛋白液入り 10mlスピッツ 1mlの 髄液添加後攪拌	
LSI-66	遮光尿スピッツ		髄液スピッツ	スピッツ (10ml用)	
LSI-71	子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ 専用採取セット		染ヘパリ	緑色キャップ ヘパリンナトリウム入り	申込用紙提出
LSI-80	紫色ゴムキャップ 10ml		トルエン蓄尿	100ml 遮光ボトル	
LSI-90	頸管腔分泌液中癌胎児 性抗原初発専用採取 キット		標本	スライド提出	
PFD6h尿	スピッツ (10ml用)		組織		
PFD前	スピッツ (10ml用)		VS4	百日咳菌 DNA 用	専用のスワブ (VS4)、滅菌ホリス ピッツ (ARR) で 提出
AZZ	金属検査用スピッツ				
SRL-F70	便中ヘリコバクター・ピ ロリ抗原専用容器				
SRL-F80	便中ヘモグロビン・ト ランスフェリン専用採 取容器				

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

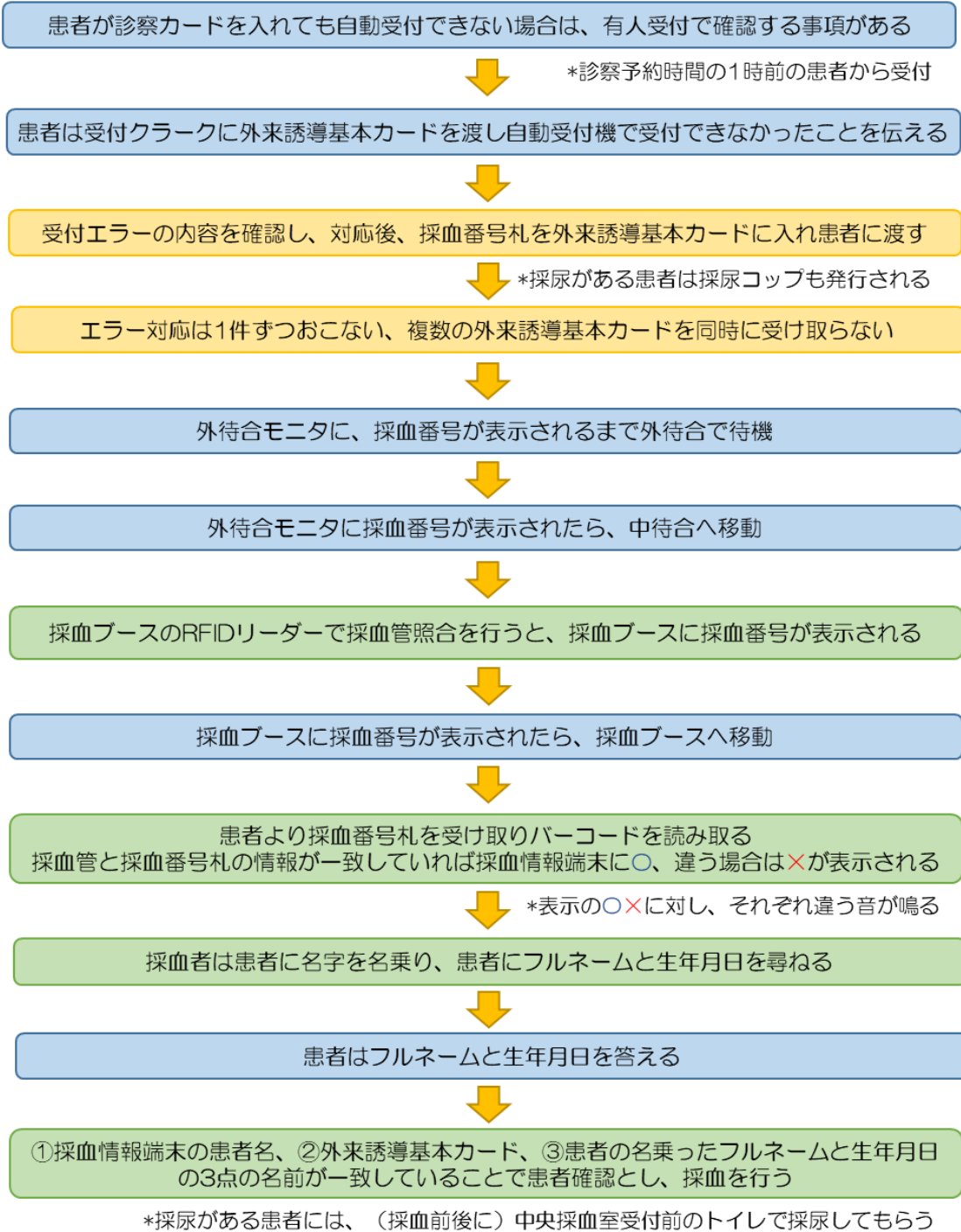
【採血室での受付から採血までのフロー】

自動採血・採尿受付機で受付の場合



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 有人受付で受付の場合



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 8. 測定方法と基準範囲

### 8-1. 一般検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
<b>尿定性</b>	試験紙法			スピッツ	
ブドウ糖	グルコースオキシダーゼ法	(-)			
タンパク質	蛋白誤差法	(-)			
ビリルビン	アゾカップリング法	(-)			
ウロビリノーゲン	アゾカップリング法	0.1~1.0	mg/d l		
PH	PH 指示薬法	5~8			
潜血	ヘモグロビン接触活性法	(-)			
ケトン体	ニトロプルシド ナトリウム法	(-)			
亜硝酸塩	グリース法	(-)			
白血球	白血球エステラーゼ活性法	(-)			
アルブミン	色素結合法	10 未満	mg/ l		
クレアチニン	キレート競合法	10~300	mg/ d l		
比重	反射型屈折率測定法	1.005~ 1.030			
色調	透過光測定法	淡黄色			
混濁	散乱光測定法	(-)			
<b>尿沈渣</b>					
上皮細胞	機器分類 (70-サトトリ-法) 鏡検法 (無染色、Sternheimer 染色)	扁平上皮細胞のみ			
赤血球		4 個以下/ HPF			
白血球		4 個以下/ HPF			
<b>便潜血</b>				専門容器	
便中ヘモグロビン	ラテックス凝集比濁法	0~49 (-)	ng/m l		
		50~99 (±)			
		100 以上 (+)			
<b>関節液</b>				スピッツ	
結晶鑑別	鏡検法				
浸透圧 (血清)	氷点降下法	275~290	mOsm/kg・ H <sub>2</sub> O		
浸透圧 (尿)	氷点降下法	50~1300	mOsm/kg・ H <sub>2</sub> O		

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 8-2. 血液・凝固検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
WBC	フローサイトメトリー法	3.3-8.6	$\times 10^3/\mu l$	紫 検 血	
RBC	シースフローDC 検出法	M 4.35-5.55	$\times 10^6/\mu l$		赤血球凝集 負の誤差
		F 3.86-4.92			溶血 負の誤差
Hb	SLS-Hgb 法	M 13.7-16.8	g/dl		強ビリルビン、乳び 正の誤差
		F 11.6-14.8			
Hct	シースフローDC 検出法	M 40.7-50.1	%		
		F 35.1-44.4			
MCV		83.6-98.2	fl		
MCH	SLS-Hgb 法/	27.5-33.2	pg		赤血球凝集 正の誤差
MCHC	シースフローDC 検出法	31.7-35.3	g/dl		赤血球凝集 正の誤差
RDW		11.5-15.5	%		
PLT	シースフローDC 検出法	158-348	$\times 10^3/\mu l$		PLT 凝集 (EDTA 依存性 凝集含む)
MPV		10.2-11.5	fl		
PDW		12.3-15.2	fl		
Ret %		0.7-2.2	%		
Ret 実数	フローサイトメトリー法	0.025-0.075	$\times 10^6/\mu l$		
IPF		0.0-6.8			
白血球分類 (機器分類)	フローサイトメトリー法				機器分類時は Seg には Stab と Seg が含まれる (Stab の基準範囲： 0.5-6.5)
Seg		38.0-74.0	%		
Lymph		16.5-49.5	%		
Mono		2.0-10.0	%		
Eosino		0.0-8.5	%		
Baso		0.0-2.5	%		
Stab+Seg 実数					
ProM+Seg 実数					
Lymph 実数					
Mono 実数		$\times 10^3/\mu l$			
Eosino 実数					
Baso 実数					
Others 実数					
白血球分類 (目視分類)	メイ ギムザ染色				
(%表示)			%		
(実数表示)			$\times 10^3/\mu l$		
大小不同	目視法/ シースフローDC 検出法				
奇型赤血球					
多染赤血球					
破碎赤血球					
赤血球二峰性					

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
PT(%)	凝固法	70-130	%	黒凝固	
APTT(秒)		25.0-38.0	秒		
Fib		200-400	mg/dl		
AT-Ⅲ	合成基質法	75-125	%		
$\alpha_2$ -PI		80-120	%		
PLG		75-150	%		
プロテインC活性		70-140	%		
血漿FDP	免疫比濁法	<5	$\mu\text{g/ml}$		
血漿Dダイマー		<1	$\mu\text{g/ml}$		
フィブリンモノマー(FMC)		6.1 $\mu\text{g/ml}$ 以下	$\mu\text{g/ml}$		
凝固第8因子活性	凝固法	60-140	%		
凝固第9因子活性		60-140	%		
赤血球沈降速度測定	ウエスタグレン法(予測演算方式)	M 2-10	mm/1h		血沈
		F 3-15			
赤血球抵抗試験	Parpart法			緑	健常人コントロールとして、緑ヘパリン採血5mLが必要です。
クロスミキシングテスト				黒	
出血時間	Duke法	1~3	分		外来患者のみ実施
骨髓検査(骨髓像)	メイギムザ染色(目視法)			骨髓標本	*オーダリングでの検査依頼と文書入力から検査申込みの入力が必要です
有核細胞数(NCC)		10-25	$\times 10^4/\mu\text{l}$		
骨髓巨核球数(Meg-cou)		50-150	$/\mu\text{l}$		
骨髓芽球(My-Blast)		0.1-1.7	%		
前骨髓球(Pro-My)		1.9-4.7	%		
骨髓球(Myelo)		8.5-16.9	%		
後骨髓球(Met-My)		7.1-24.7	%		
桿状核球(St-N)		9.4-15.4	%		
分葉核球(Seg-N)		3.8-11.0	%		
好酸球(Eosino)		1.1-5.2	%		
好塩基球(Baso)		0.2-1.4	%		
単球(Mono)		0-0.6	%		
リンパ球(Lymph)		8.6-23.8	%		
形質細胞(Plasma)		0-3.5	%		
前赤芽球(Pro-Ery)		0.1-1.1	%		
好塩基性赤芽球(Nor-Baso)		0.4-2.4	%		
多染性赤芽球(Nor-Poly)		13.1-30.1	%		
正染性赤芽球(Nor-Orth)		0.3-3.7	%		
M/E比	1.1-3.5				



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 8-3. 細胞機能検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考	
T細胞サブセット検査表面免疫グロブリン	FCMによる 直接免疫蛍 光抗体法		%	緑 へ パ リ ン *1		
HLA-DR			%			
CD3		58-84	%			
CD4		25-56	%			
CD8		17-44	%			
CD4/CD8 比		0.6-2.9				
T細胞・B細胞百分率検査 TdT 精密測定			%			
CD3		58-84	%			
CD4		25-56	%			
CD8		17-44	%			
CD22		5-24	%			
CD16		5-37	%			
CD56		10-38	%			
CD4/CD8 比		0.6-2.9	%			
B細胞表面免疫グロブリン						
s IgA		1-3	%			
s IgG		1-3	%			
s IgM		3-12	%			
s IgD		1-10	%			
s Ig κ		3-8	%			
s Ig λ	1-5	%				
ターミナルデオキシヌクレ オチシルトランスフェラー ゼ (TdT)						
造血器腫瘍細胞抗原検査						
CCR4 タンパク(フローサイ トメトリー法)		陰性				
ALP染色		M score 60.6-99.5 rate 169.5-335.0				
		F score 67.5-99.5 rate 188.5-367.0				
ペルオキシダーゼ染色	3,3DAB 法 (目視法)					
エステラーゼ染色	αNB・CAエ ステラーゼ法 (目視法)					

\*1 検体がその他の材料（骨髄、リンパ節、体腔液等）の場合は、適宜容器を選択の上提出して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

※固形の検体は、必ず浮遊液の状態でご提出ください。

※細胞数の極端に少ない検体（髄液等）では、時に測定できないことがあります。

※造影剤や、種々の薬剤等の影響で、データに影響を及ぼすことがあります。

※CCR4 は依頼時連絡要（7412）

※検査項目の追加等がある場合は、フリーコメント欄への入力をお願いします。

※末梢血幹細胞移植等に伴うCD34陽性細胞数測定の際には、事前に予約の連絡をお願いします。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

#### 8-4. 生化学検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
Na	イオン選択電極法	138-145	mmol/l	緑 ヘ パ リ ン *2	乳び 低度 負の誤差
K		3.6-4.8			溶血 中度 正の誤差
Cl		101-108			乳び 低度 負の誤差
Mg		酵素法（イソクエン酸脱水素酵素法）			1.8-2.4
IP	酵素法（キサンチンオキシダーゼ法）	2.7-4.6			
Ca	酵素法（ $\alpha$ -アミラーゼ法）	8.8-10.1	EDTA 低度 負の誤差		
BUN	酵素法（ウレアーゼ・GLDH法 アンモニア消去法）	8-20	mg/dl		
クレアチニン	酵素法（ザルコシンオキシダーゼ・POD法）	M 0.65-1.07 F 0.46-0.79			
尿酸	酵素法（ウリカーゼ・POD法）	M 3.7-7.8 F 2.6-5.5			
総蛋白	ビュレット法	6.6-8.1	g/dl		溶血 中度 正の誤差 乳び 低度 正の誤差
アルブミン	BCP改良法	4.1-5.1			
総ビリルビン	酵素法（ビリルビンオキシダーゼ法）	0.4-1.5	mg/dl		遮光保存
直接ビリルビン	酵素法（ビリルビンオキシダーゼ法）	0.2以下			遮光保存
AST	JSCC 標準化対応法	13-30	U/l		溶血 中度 正の誤差
ALT		M 10-42 F 7-23			
LD		124-222			溶血 高度 正の誤差
ALP		106-322		EDTA 高度 負の誤差	
CHE		pHBC 基質法/JSCC 標準化対応法		M 240-486 F 201-421	
GGT	JSCC 標準化対応法	M 13-64 F 9-32			
CK		M 59-248 F 41-153			
CK-MB	免疫阻害法	15以下			
アミラーゼ	Et-pNP-G7/標準化対応法	44-132			
P-アミラーゼ	免疫阻害法	16-52			
T-Chol	酵素法（CE-COD-POD法）	142-248	mg/dl		
LDL-C	直接法（酵素法）	65-163			
HDL-C	直接法（酵素法）	M 38-90 F 48-103			
中性脂肪	酵素法（LPL-GK-GPO-PODグリセロール消去法）	M 40-234 F 30-117		乳び 低度 正の誤差	
血清鉄	Nitroso-PSAP法	40-188	$\mu$ g/dl	EDTA 高度 負の誤差 溶血 低度 正の誤差	

\*2 分離剤入も可能 注意（尿・髄液・その他検体の生化学項目測定方法は血清と同様）

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
UIBC	Nitroso-PSAP 法	M 111-255 F 137-325	μg/dl	緑ヘパリン*2	溶血 低度 正の誤差
蛋白分画	セルロースアセテート膜 電気泳動法		%	分離剤入	
Alb		61.7-71.7			
α <sub>1</sub> -G		1.7-2.6			
α <sub>2</sub> -G		5.7-8.9			溶血 低度 正の誤差
β-G		6.6-10.2			溶血 低度 正の誤差
γ-G	10.8-20.1				
血糖（ヘパリン）	ヘキシキナーゼ・ G-6-PDH 法	73-109	mg/dl	緑ヘパリン	解糖あり直ちに分析
血糖（NaF）	GOD 固定化酵素電極法	73-109	mg/dl	灰血糖用	
HbA1c	高速液体	4.9-6.0	%		
HbF	クロマトグラフィー		%		
グリコアルブミン	酵素法	11~16	%	緑ヘパリン*2	
アンモニア	ドライケミストリー （微量拡散法）	75 以下	N-μg/dl	緑ヘパリン	直ちに氷冷 速やかに測定
ICG	比色法	0.10 以下 （15 分値）	mg/dl	分離剤入	溶血 低度 正の誤差 乳び 低度 正の誤差 遮光で提出
CRP	ラテックス免疫比濁法	0-0.14	mg/dl	緑ヘパリン*2	
高感度 CRP		0-0.14	mg/dl		
毛細管 CRP				mg/dl	毛細管
プレアルブミン	免疫比濁法（TIA）	22-40	mg/dl	分離剤入*3	
レチノール結合蛋白 （RBP）	ラテックス免疫比濁 （LA-TIA）	M 2.7-6.0 F 1.9-4.6	mg/dl	分離剤入	
蛋白 （尿・髄液・その他検体）	ピロガロールレッド法		mg/dl	スピッツ	
尿中 Alb	免疫比濁法（TIA）	30 以下	mg/L	スピッツ	
NAG	MPT-NAG 基質法	11.5 以下 （随時尿）	IU/l	スピッツ	溶血 低度 正の誤差
MMP-3	ラテックス免疫比濁法	M 36.9-121.0 F 17.3-59.7	ng/ml	分離剤入*3	
血液ガス				血ガス用	速やかに提出，測定
pH	電極法	7.35-7.45			
pCO <sub>2</sub>		M 35-48	mmHg		
		F 32-45			
pO <sub>2</sub>		83-108	mmHg		
HCO <sub>3</sub>	M 22.2-28.3	mmol/L			
	F 21.2-27.0				
SO <sub>2</sub>	光学測定法	95.0-99.0	%		
BE		-7 - +2	mmol/L		
Lac	電極法	0.5-1.6	mmol/L		
Ca <sup>2+</sup>	電極法	1.15-1.29	mmol/L		

注意（尿・髄液・その他検体の生化学項目測定方法は血清と同様）

\*3 ヘパリンも可能

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 8-5. 免疫血清検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考		
RPR	ラテックス凝集免疫比濁法	1.0未満	R.U.	分離剤入	生物学的偽陽性(BFP)に注意。		
TP抗体	ラテックス凝集免疫比濁法	0.5未満	C.O.I.				
HBs抗原	化学発光免疫測定法(CLIA)	0.05未満	IU/ml	分離剤入*3	ワクチネーション基準 10.0 mIU/ml 未満		
HBs抗体		10.0未満	mIU/ml				
HBc抗体		1.0未満	S/CO				
HBe抗原		1.000未満	S/CO				
HBe抗体		50未満	%Inh				
HCV抗体		1.0未満	S/CO		第2世代で測定		
HIV抗原・抗体		1.0未満	S/CO		HIV-1・2抗体、HIV-1 p24抗原 同時検出		
抗HTLV抗体		1.0未満	S/CO		HTLV-1抗体、HTLV-2抗体検出		
寒冷凝集反応		赤血球凝集反応(HA)	<128		凝集素価	分離剤入	
寒冷凝集反応(室温)	凝集素価						
マイコプラズマ抗体	粒子凝集反応(PA)	<320	抗体価		IgG, IgM 共に検出		
intact-PTH	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	注1	15-65	pg/ml	EDTA-2Na*2	長時間放置で低値傾向	
甲状腺ホルモン							
FT3			2.3-4.0	pg/ml	緑ヘパリン*3		
FT4			0.9-1.7	ng/dl			
TSH			0.50-5.00	μIU/ml			
LH				mIU/ml	分離剤入*3		
FSH				mIU/ml	分離剤入*3		
プロラクチン				ng/ml	分離剤入		
HCG+β				mIU/ml	分離剤入*3		
エストラジオール				pg/ml			
プロゲステロン				ng/ml			
Cortisol				注2	μg/dl	緑ヘパリン	
インスリン(IRI)				18.7μU/mL以下	μU/ml	分離剤入*3	溶血で低値(負誤差)
C-ペプチド(血清)				0.8~2.5	ng/ml	分離剤入	
C-ペプチド(尿)				注2	ng/ml	スピッツ	蓄尿時、必ず安定化剤を添加。同一検体で他の尿検査依頼不可。

\*2 分離剤入も可能      \*3 ヘパリンも可能

注1~注2は40ページ参照

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
RF	ラテックス免疫比濁法 (LA-TIA)	15 以下	IU/ml	分離剤	
抗CCP抗体	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	<4.5	U/mL		
免疫グロブリン					
IgG	免疫比濁法 (TIA)	861-1747	mg/dl	分離剤 入	
IgA		93-393	mg/dl		
IgM		M 33-183	mg/dl		
	F 50-269				
IgE	ラテックス凝集法	358 以下	IU/ml		
血清-補体価	溶血反応 (Mayer の変法)	30-46	CH50/ml	分離剤 入	血清分離後検体は凍結で保存 (-20~-40℃)
補体成分 C3	免疫比濁法 (TIA)	73-138	mg/dl		
補体成分 C4		11-31	mg/dl		
抗核抗体	間接蛍光抗体法 (IFA)	<80	抗体価		注3
抗ENA抗体					
抗SS-A抗体	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	<10	U/mL		
抗SS-B抗体		<10	U/mL		
PR3-ANCA		<3.5	U/mL		
MPO-ANCA		<3.5	U/mL		
AFP	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)	7.0 以下	ng/ml	分離剤 入*3	
PIVKA-II	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	<28	mAU/mL	分離剤 入*3	ビタミンK剤の投与：減少 ビタミンK拮抗剤 (ワーファリン等) や抗生物質の投与：上昇
CEA	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)	5.0 以下	ng/ml	緑ヘパ リン*3	
フェリチン		7.72-429	ng/ml		
sIL-2R	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	121-613	U/mL	分離剤 入*3	
サイログロブリン	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)	33.7 以下	ng/ml	緑ヘパ リン*3	
CA125		35.0 以下	U/ml		
CA19-9		37.0 以下	U/ml		
T-PSA		3.53 以下	ng/ml		Total-PSA
F-PSA			ng/ml		Free-PSA
F/T比			%		Free-/Total-PSA比
$\beta_2$ マイクログロブリン (血清)	ラテックス凝集法	2.0 以下	mg/l	分離剤 入	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
$\beta_2$ マイクログロブリン (尿)		150 以下	$\mu\text{g/l}$	スピッツ	pH5.5 以下では不安定、すぐに検査できない時は遠心分離後上清を凍結保存(-40℃)
ハプトグロビン	免疫比濁法 (TIA)	19-170	Mg/dl	分離剤入	
トランスフェリン		190-320	mg/dl		
免疫電気泳動	免疫固定法				
尿免疫電気泳動				スピッツ	
KL-6	化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)	105.3-401.2	U/mL	分離剤入*3	
NT-proBNP	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	55 以下	pg/ml	緑ヘパリン*3	
高感度トロポニン T		0.014 以下	ng/ml		
プロカルシトニン		0.046 以下	ng/ml		注4

\*2 分離剤入も可能

\*3 ヘパリンも可能

注3～注4は40ページ参照

### 免疫血清検査基準範囲 注1～5

#### 注 1

項目	群		基準範囲
	性	性周期	
LH (mIU/ml)	男	—	2.2～8.4
		女	卵胞期
	排卵期		8～100
	黄体期		0.5～15
		閉経期	11～50
FSH (mIU/ml)	男	—	1.8～12
		女	卵胞期
	排卵期		5～24
	黄体期		1.3～6.2
		閉経後	26～120
プロラクチン (ng/ml)	男	—	4.29～13.69
	女	閉経前	4.91～29.32
		閉経後	3.12～15.39
HCG+β (mIU/ml)	男	—	2mIU/ml以下
	妊婦	3週	5.8～71.2
		4週	9.5～750
		5週	217～7138
		6週	158～31795
		7週	3697～163563
		8週	32065～149571
		9週	63803～151410
		10週	46509～186977
		12週	27832～210612
		14週	13950～62530
		15週	12039～70971
		16週	9040～56451
		17週	8175～55868
		18週	8099～58176
エストラジオール (pg/ml)	男	—	14.6～48.8
		女	卵胞期
	排卵期		36.4～525.9
	黄体期		44.1～491.9
	閉経後		47.0以下
	妊婦※	初期	208.5～4289
中期		2808～28700	
後期		9875～31800	
プロゲステロン (ng/ml)	男	—	0.2以下
	女	卵胞期	0.3以下
		排卵期	5.7以下
		黄体期	2.1～24.2
		閉経後	0.3以下
	妊婦※	初期	13.0～51.8
		中期	24.3～82.0
後期		63.5～174.4	

#### 注 2

項目	条件	基準範囲
Cortisol (μg/dl)	午前	7.07～19.6
	午後	2.69～9.77
尿 C-ペプチド (μg/day)	一日蓄尿	22.8～155.2

※尿 C-ペプチドの測定量の単位は ng/mL となっています。  
測定値 (ng/mL) × 畜尿量 (L) より計算して求めてください。

#### 注 3

抗核抗体パターン

略	パターン
PE	Peripheral(Shaggy)
H	Homogeneous(Diffuse)
SP	Speckled
N	Nucleolar
C	抗細胞質抗体
AC	抗セントロメア抗体
P	PCNA
O	Other

#### 注 4

プロカルシトニン (ng/ml)

指標	カットオフ値
敗血症 (細菌性) 鑑別診断	0.5
敗血症 (細菌性) 重症度診断	2

※初期 (4週～13週)  
中期 (14週～27週)  
後期 (28週～38週)



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 8-6. 微生物検査

### 微生物培養検査

検査項目	材料	測定方法	備考
一般細菌塗抹検査	便、カテ先、臓組織を除くすべての材料	グラム染色法	
一般細菌培養同定検査	鼻腔、咽頭、喀出痰、気管支鏡下採痰、中間尿、カテーテル尿、便、胆汁、血液、髄液、腹水、胸水、関節液、膿、分泌物、臓器、組織、カテ先	質量分析法 (MALDI-TOF-MS)	
一般細菌薬剤感受性試験	一般培養検査にて分離された菌	Phoenix 100 (BD) 法 ASTY 法 (酵母様真菌)	注 1
抗酸菌集菌塗抹検査	すべての材料	蛍光染色法	
抗酸菌培養同定検査 (非結核性抗酸菌)	すべての材料	質量分析法 (MALDI-TOF-MS)	
抗酸菌薬剤感受性試験	抗酸菌培養検査にて分離された菌	プロスミックス法 (MIC 法)	注 1
結核菌群および <i>M. avium</i> 、 <i>M. intracellulare</i> 核酸増幅同定 検査 (PCR)	すべての材料	Real-time PCR 法	
MRSA 監視培養	鼻腔、咽頭のみ	MRSA スクリーニング培地	
GBS スクリーニング	膣分泌物のみ (産婦人科のみ)	GBS スクリーニング培地	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

細菌性抗原検査

検査項目	材料	容器	採取量	報告可能範囲	測定方法
大腸菌O-157	便	嫌気ポスター	1.0 g	陰性：－ / 陽性：＋	仏ノコマトグラフ法
大腸菌ベロ毒素 (VT1/VT2)				陰性：－ / 陽性：＋	ELISA 法
CDトキシン				トキシン陽性・抗原陽性： トキシン(+) CD(+)	仏ノコマトグラフ法
				トキシン陰性・抗原陰性： トキシン(-) CD(-)	
				トキシン陰性・抗原陽性： トキシン(-) CD(+)	
※トキシンA, B 区別なし					
A群溶連菌	咽頭ぬぐい液	綿棒	/	陰性：－ / 陽性：＋	仏ノコマトグラフ法
髄液中抗原検査	髄液	滅菌試験管	1.0 ml	陰性：－	ラテックス凝集法
				Nm.B / E.c K1： <i>Neisseria Meningitidis</i> group B / E.coli K1 抗原陽性	
				Hi.b： <i>Haemophilus influenzae</i> type b 抗原陽性	
				Strep.pneum： <i>Streptococcus pneumoniae</i> 抗原陽性	
				StrepB： <i>Streptococcus</i> group B 陽性	
				Nm.A： <i>Neisseria</i> <i>Meningitidis</i> group A 陽性	
				Nm.C： <i>Neisseria</i> <i>Meningitidis</i> group C 陽性	
				Nm.Y / W135： <i>Neisseria Meningitidis</i> group Y / W135 陽性	
尿中レジオネラ	尿	滅菌試験管	2.0 ml	陰性：－ / 陽性：＋	仏ノコマトグラフ法
尿中肺炎球菌					
肺炎球菌 咽頭	喀痰・咽頭ぬぐい液	滅菌痰コップ・綿棒	/		
肺炎球菌 中耳・副鼻腔	中耳・副鼻腔	綿棒	/		
マイコプラズマ抗原定性	咽頭・鼻腔ぬぐい液	滅菌綿棒	/		

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 真菌性抗原検査

検査項目	材料	容器	採取量	報告可能範囲	測定方法
(1→3)-β-D-グルカン	血液	EG管	3.0ml	カットオフ参考値：20 pg/mL 測定範囲：4～500 pg/mL	発色合成基質法
カンジダ抗原検査		分離剤入	3.0ml	陰性：－ / 陽性：＋ カットオフインデックス (C.O.I) 0.5未満：陰性 (－) カットオフインデックス (C.O.I) 0.5以上：陽性 (＋)	酵素免疫測定法
アスペルギルス				陰性：－ ＋(1)：原液検体のみ凝集 ＋(8)：8倍希釈検体まで凝集あり ＋(16)：16倍希釈検体まで凝集あり ＋(32)：32倍希釈検体まで凝集あり	アググレーション凝集法
クリプトコックス抗原					

### ウイルス性抗原検査

検査項目	材料	容器	採取量	報告可能範囲	測定方法
インフルエンザ AB	咽頭・鼻腔ぬぐい液	専用綿棒 (緑色)		陰性：－ A+：インフルエンザ A 陽性 B+：インフルエンザ B 陽性	仏カマトグラフィー法
ロタウイルス	便	滅菌綿棒・嫌気ポスター	0.5g	陰性：－ / 陽性：＋	
アデノウイルス					
アデノウイルス	咽頭・眼分泌物	滅菌綿棒			
RSウイルス	咽頭・鼻腔ぬぐい液				
ノロウイルス	便	滅菌綿棒・嫌気ポスター			
ヒトメタニューモウイルス	咽頭・鼻腔ぬぐい液	滅菌綿棒			

### その他の抗原検査

検査項目	材料	容器	採取量	報告可能範囲	測定方法
赤痢アメーバ ※	便・その他	嫌気ポスター	1.0g	陰性：－ / 陽性：＋	コード染色法

※赤痢アメーバは低温に弱いため、検体採取後は直ちに提出

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

注 1. 薬剤感受性試験の対象菌種別測定薬剤

系統	薬剤名		
グラム陰性菌	ABPC	PIPC	ABPC/SBT
	PIPC/TAZ	CPZ/SBT	CEZ
	CTM	CMZ	CPDX
	CDTR-PI	CTX	CTRX
	CAZ	LMOX	CFPM
	CPR	AZT	IPM
	MEPM	GM	AMK
	MINO	LVFX	CPFX
	ST		
グラム陽性菌	PCG	ABPC	MPIPC
	ABPC/SBT	AMPC/CVA	CEZ
	CTM	CMZ	CFX
	CDTR-PI	LMOX	IPM
	MEPM	GM	GM500
	AMK	ABK	EM
	MINO	CP	CLDM
	LVFX	CPFX	MFLX
	VCM	TEIC	DAP
	ST	LZD	
嫌気性菌	ABPC	ABPC/SBT	PIPC/TAZ
	CMZ	FMOX	CFPM
	CLDM	MINO	CPZ/SBT
	STFX	LVFX	VCM
	CAM	MEPM	IPM
	CAZ		
真菌	AMPH-B	MCFG	VRCZ
	5-FC	FLCZ	ITZ
	MCZ	CPFG	
結核菌	SM	EB	KM
	INH	RFP	RBT
	LVFX	CPFX	
非結核性抗酸菌	SM	EB	KM
	RFP	RBT	LVFX
	CAM	TH	AMK

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 8-7. 造血器腫瘍核酸増幅同定検査

検査項目	主な材料	測定方法	判定基準
HTLV-1 Southern blot	末梢血 (EDTA) 骨髄血 リンパ節	・サザンプロット ハイブリダイゼーション法	クロナリティーを認めず
HTLV-1 定量		・qPCR 法	プロウィルス DNA を 検出せず
WT-1 定量	末梢血 (EDTA) 骨髄血	・RT-qPCR 法	なし
Major bcr-abl IS		・RT-qPCR 法	(-)
bcr-abl		・定性：RT-PCR 法	(-)
		・定量：RT-qPCR 法	なし
bcr-abl 変異解析		・ダイレクトシーケンス法	
PML-RAR $\alpha$		・定性：RT-PCR 法	(-)
		・定量：RT-qPCR 法	なし
FLT3-ITD 変異解析		・PCR 法	ITD 変異なし
JAK2 V617F 変異解析		・Melting Curve Analysis 法	Wild
CALR 変異解析	・PCR 法	Wild	

備考：HTLV-1 Southern blot

ゲノムDNA 10~15  $\mu$ g/assay 使用

検出感度：3.12%（単核球分画中）以上

bcr-abl変異解析

bcr-ablキメラ遺伝子が少ない場合は、検査実施できません。

### 免疫関連遺伝子再構成検査

検査項目	主な材料	測定方法	判定基準
IgH 再構成 JH probe (Southern blot)	末梢血 (EDTA) 骨髄血 リンパ節	・サザンプロット ハイブリダイゼーション法	再構成を認めず
IgH(CDRIII)再構成		・PCR 法	polyclonal
TCR $\beta$ 鎖再構成 c $\beta$ 1 probe (Southern Blot)		・サザンプロット ハイブリダイゼーション法	再構成を認めず
TCR $\gamma$ 再構成		・PCR 法	polyclonal

### 悪性腫瘍遺伝子検査

検査項目	主な材料	測定方法	判定基準
RAS・BRAF 変異解析	FFPE 標本 (大腸癌関連)	・PCR-rSSO 法	変異を認めず

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 8-8. 細胞療法部

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器	備考
血液型	赤血球凝集法 (試験管法、マイクロプレート法、MTS法)	設定なし		EDTA-2Na	
不規則抗体	赤血球凝集法 (試験管法、キャプチャー法、MTS法)	設定なし			
直接クームス	赤血球凝集法 (試験管法、キャプチャー法)	設定なし			
間接クームス	赤血球凝集法 (試験管法、キャプチャー法、MTS法)	設定なし			
Donath-Landsteiner 試験	溶血反応	陰性		緑ヘパリン	同じ血液型の健康人コントロールのプレーン採血10mlも必要
Ham 試験	溶血反応	陰性			
Sugar-Water 試験	溶血反応	陰性			
抗 A、抗 B 抗体価	赤血球凝集法 (試験管法)	設定なし	抗体価	分離剤入	輸血管理室へ事前に電話連絡要
ABO 式血液型亜型検査		設定なし		EDTA-2Na	輸血管理室へ事前に電話連絡要

\*輸血療法に関する詳細は「長崎大学病院 輸血療法マニュアル」をご覧ください。

[http://intranet.mh.nagasaki-u.ac.jp/intranet/manual/gyoumu/yuketu/yuketu\\_manual.pdf](http://intranet.mh.nagasaki-u.ac.jp/intranet/manual/gyoumu/yuketu/yuketu_manual.pdf)

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 9. 生理機能検査

### 12 誘導心電図

検査名	12 誘導心電図
原理・目的	心臓の微弱な電気活動を電極により導出し増幅後記録する。 心筋梗塞など虚血性心疾患における心筋異常の有無や不整脈、電解質異常、治療薬投与の効果、副作用の判定など。
検査方法	安静時心電図の誘導法①標準肢誘導②単極肢誘導③単極胸部誘導を記録する。全ての診療科で解析装置付心電計で測定する。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	8:30～16:30 出張心電図を希望される方は、依頼入力をする際特別指示（T）の生理検査オーダーより「心電図出張希望」を選択してください。緊急の場合は心電図室（内線 7415）までご連絡ください。
検査結果報告	検査実施後即時報告。所見の必要な心電図は循環器内科判読医によりオーバーリード後、結果が上書きされます。参照画面の心電図より報告。 補正 QT 時間: Bazett 法/Fridericia 法にて表記。
注意事項	病名・検査目的・感染症・既往歴は必須入力です。 感染症の疑いのある患者様（疥癬、带状疱疹、MRSA、その他の感染症）は院内感染の恐れがありますので必ず入力して下さい。

### 3分間心電図

検査名	3 分間心電図
原理・目的	安静時心電図を 3 分間記録する。12 誘導心電図で検出しにくい APC・VPC などの不整脈検出の有無や頻度の把握。 不整脈有無の確認、抗不整脈治療薬の効果判定、副作用の検討を行う場合。
検査方法	I, aVF, V5 の 3 誘導で紙送り速度を 5mm/sec で 3 分間記録する。
検査実施日	
受付時間	12 誘導心電図に準ずる。
検査結果報告	注) 3分間心電図記録の際、12 誘導心電図も一緒に記録します。12 誘導心電図の同時オーダーは不要です。
注意事項	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 24時間ホルター心電図・24時間心電血圧検査

検査名	24時間ホルター心電図・24時間心電血圧検査
原理・目的	小型の携帯型心電計を装着し、日常生活中心電図、心電図+血圧を24時間記録する。短時間の心電図記録では分からない不整脈の出現頻度、狭心症の有無や24時間の血圧の変動などを調べることができ、動悸や胸痛、失神発作などの症状の方に有益な検査。
検査方法	ホルター心電図の装着・説明：ホルター心電計を装着後、装着時の諸注意を伝え、行動記録カードへの記録、24時間後に再来所するように指示する。 解析・編集作業：患者から取り外したホルター結果を自動解析後、編集する。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	8：30～16：30
検査結果報告	参照画面の心電図 → 画面左、波形のオレンジ色のボタンをクリック → 表示された結果上で右クリックし判読レポート」を選択すると、レポート参照ができます。
注意事項	依頼可能な診療科：循環器内科、心臓血管外科、小児科 上記以外の診療科は、循環器内科を通して依頼して下さい。

### 血圧脈波測定検査

検査名	血圧脈波測定検査（ABI：Ankle Brachial index）
原理・目的	足首と上腕の血圧を同時に測定し、足首最高血圧／上腕最高血圧の比で血管狭窄の有無を、またCAVI（動脈硬化指標）を求めることで動脈硬化の有無を評価する。
検査方法	上半身は、薄手のシャツ又は裸で、ベッド上仰臥位で行う。両上腕・両足首に血圧計のカフを巻き心音図、心電図（I誘導）、膝脈波センサーの取り付け検査を行う。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	8：30～16：30
検査結果報告	検査終了後、参照画面の心電図より報告。
注意事項	感染症の疑いのある患者様（疥癬、带状疱疹、MRSA、その他の感染症）は、血圧計カフの滅菌・消毒ができないため検査できません。 四肢に開放創部や感染創がある場合は検査できません。 検査時オンライン接続が必要なため、出張検査には対応できません。



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 微小心電図検査（LP検査）

検査名	微小心電図検査（LP：Late Potential）
原理・目的	<p>通常の12誘導心電図では記録できない微小電位を検出し記録する心電図。ベクトルマグニチュード法。</p> <p>心室遅延電位の検出は、器質的心疾患における致死的心室不整脈、突然死予測に用いられる。Brugada 症候群におけるハイリスク群の同定に有用性が期待されている。</p> <p>心房遅延電位にも応用され、発作性心房細動発症予測因子としても利用される。</p>
検査方法	安静時心電図を250心拍加算する。自動解析後、計測値を確認・修正し報告する。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9：00～16：30
検査結果報告	検査終了後、参照画面の心電図より報告。
注意事項	循環器内科医師のみ依頼可能。他は12誘導心電図に準ずる。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 脳波検査

検査名	脳波検査（覚醒・睡眠）
原理・目的	脳波検査は頭皮上で大脳皮質の活動電位を所定の位置に設置した電極より計測する。てんかん、腫瘍、脳血管障害などの中枢神経障害、精神科領域の精神障害、意識障害などを対象とする。
検査方法	電極の装着：10/20法 小児の場合睡眠剤で前もって眠らせることがあります。
	脳波の記録：覚醒脳波は安静閉眼覚醒状態で単極・双極誘導で記録した後、単極誘導で開眼、音刺激、光刺激、過呼吸などの賦活刺激をおこなう。睡眠脳波（自然睡眠・薬剤睡眠）は睡眠状態記録後、覚醒させ、可能なかぎり賦活刺激を行う。
検査実施日	月曜日～金曜日 原則は予約制で3ヶ月前から受付します。
受付時間	9:00～16:30
	検査所要時間は覚醒脳波は約40分、睡眠脳波で約1時間です。
検査結果報告	所見報告書は参照画面で報告、波形結果も参照画面で閲覧可。
注意事項	検査当日の食事などは特に配慮する必要はありません。 睡眠脳波は、検査当日、寝不足気味になるようお願いいたします。 薬剤睡眠は、検査開始30分～40分前に眠剤を服用させて下さい。 予約時間を厳守して下さい。
	判読を自診療科で行わない場合は、事前に判読を行う診療科との申し合わせの上、依頼を行って下さい。（判読を行う診療科の外来診療扱いとなります。）
	緊急の場合は脳波室へ（内線 3431）

### 【脳波検査の予約について】

- ・脳波検査では検査に時間のかかる検査（小児睡眠脳波など）があり、時間を調整する必要があるためクローズ予約となっています。
- ・オーダーリング画面で脳波の検査を依頼後、主治医より脳波室（内線 3431）に電話していただくか、患者様（家族）に脳波室へ来ていただき直接予約をとっていただくようになっています。
- ・後日脳波室に患者様が直接電話（外線 095-819-7415 内線3431）されて予約することも可能です。

※3ヶ月前から予約を受け付けていますが、長期休みに係る予約は

春休み全期間の予約は 2月の第2火曜日より開始

夏休み全期間の予約は 6月の第2火曜日より開始

冬休み全期間の予約は 11月の第2火曜日より開始

となっています。患者様へ予約開始日の説明をお願いします。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

### 呼吸機能検査：スパイログラム

検査名	スパイログラム(肺気量分画、努力性肺活量、フローボリューム曲線、安静時換気量、最大換気量)
原理・目的	肺に入入りする空気の量と早さをスパイロメータを用いて描かせた曲線であり、最大吸気位、呼気位、安静換気位より1回換気量(TV)、予備呼気量(ERV)、予備吸気量(IRV)、肺活量(VC)の肺気量分画を求める。 拘束性疾患、閉塞性疾患などの肺機能疾患の精査および術前術後の評価。
検査方法	安静時の分時換気量(MV)を求め、少なくとも安静時換気が3回続いた後最大呼出させた後、最大吸気を行わせる(吸気肺活量)そして最大吸気位から最大呼気位を行わせる(呼気肺活量)努力性肺活量は安静呼吸後、最大吸気位まで息を吸って、掛け声とともに一気にはきださせる。MVVは12秒間できるだけ最大換気をおこなわせこの値を1分換算する。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9:00～16:30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。 基準値の式はBaldwinによるものを使用しています。
注意事項	喀痰にて結核菌(+)の患者様は検査できません。検査所要時間はスパイログラムで約15～30分、全項目の場合は約1時間～1時間半を要します。

### 呼吸機能検査：残気量RV 機能的残気量FRC

検査名	残気量 機能的残気量
原理・目的	He閉鎖回路法：空気に約10%のHeを混合した気体を吸入させ、機器内と肺内のHe濃度が平衡に達するまで安静呼吸を行う。FRC・RVは肺弾性収縮力と胸郭弾性拡張力のバランスが変化した疾患において有用。
検査方法	約3～4分程度安静呼吸を行う。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9:00～16:30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。
注意事項	スパイログラムに準ずる。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

#### 呼吸機能検査：肺拡散能検査DLCO

検査名	肺拡散能検査
原理・目的	CO を吸入させ 10 秒間呼吸を停止後、一気に呼出させその時の CO 濃度を測定し DLCO を算出する。閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、心不全投薬の副作用による呼吸器疾患の評価。
検査方法	1 回呼吸法 (single breath 法)
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9:00～16:30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。
注意事項	スパイログラムに準ずる。

#### 呼吸機能検査：クロージングボリュームCV

検査名	クロージングボリューム
原理・目的	最大吸気位から最大呼気位までゆっくり呼出させると呼気はまず下肺野から始まり、最大呼気位に近づいたところで、下肺野の気道が閉じ、呼気中に上肺野からの呼気が多く出現し始める。この時点から、最大呼気位までの気量をクロージングボリュームといい、通常肺活量に対する%値としてあらわす。肺疾患、末梢気道病変が疑われる疾患の評価。
検査方法	単一呼吸法
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9:00～16:30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。
注意事項	スパイログラムに準ずる。

#### 呼吸機能検査：酸素消費量

検査名	酸素消費量
原理・目的	心臓カテーテル検査で Fick 法による心拍出量 (l/min) を求めるために用いられる。 心拍出量 (l/min) = 肺呼吸酸素消費量 (ml/min) / 動脈血酸素濃度 (l/min) - 静脈血酸素濃度 (l/min)
検査方法	車椅子で来室していただき、車椅子に座った状態で検査します。測定は安静換気を 2～4 分間行います。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9:00～16:30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。
注意事項	必ず車椅子で来室して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

呼吸機能検査：薬剤負荷試験（可逆性試験）

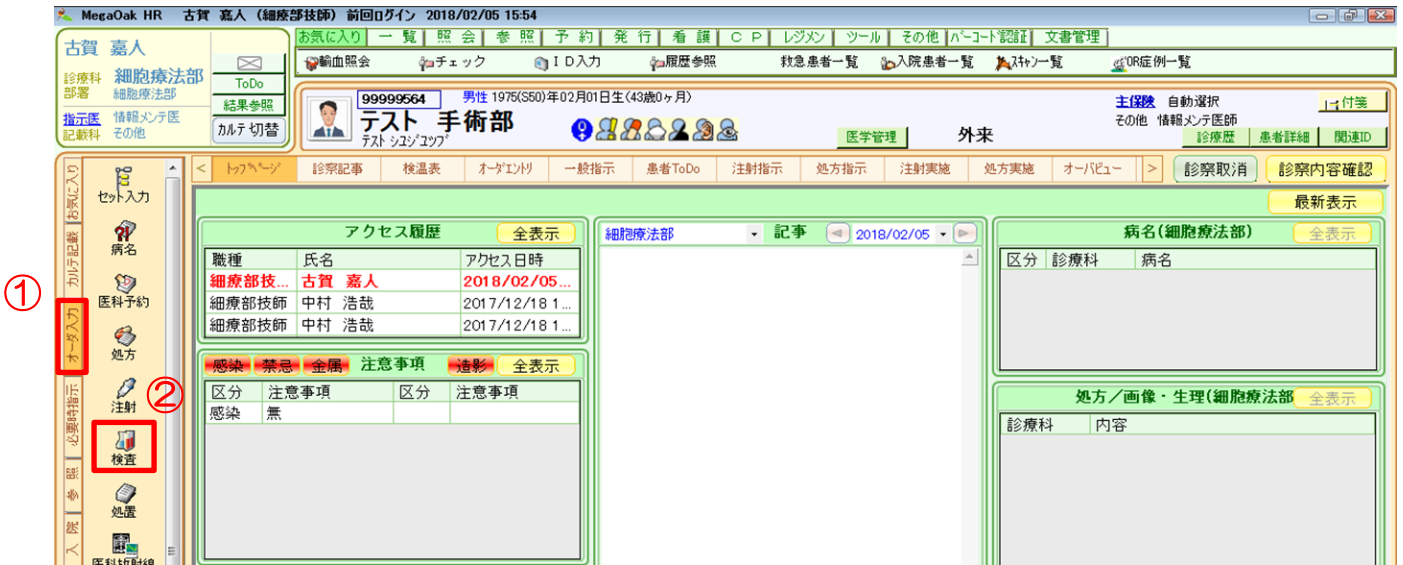
検査名	薬剤負荷試験（可逆性試験）
原理・目的	閉塞性換気障害における気道閉塞の可逆性の有無を確認する。気管支喘息の診断および他の閉塞性疾患との鑑別。
検査方法	フローボリューム曲線・一秒率・一秒量を測定後、気管支拡張剤を吸入する。一定時間後に再測定し、吸入前後の測定結果を比較する。吸入後は時間をおいて2～3回測定。
検査実施日	月曜日～金曜日
受付時間	9：00～16：30
検査結果報告	検査終了後報告、参照画面の呼吸機能より報告。
注意事項	主治医同伴です。同伴可能な時間帯に予約して下さい。使用する薬剤と吸入器、ネブライザー等は持参して下さい。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

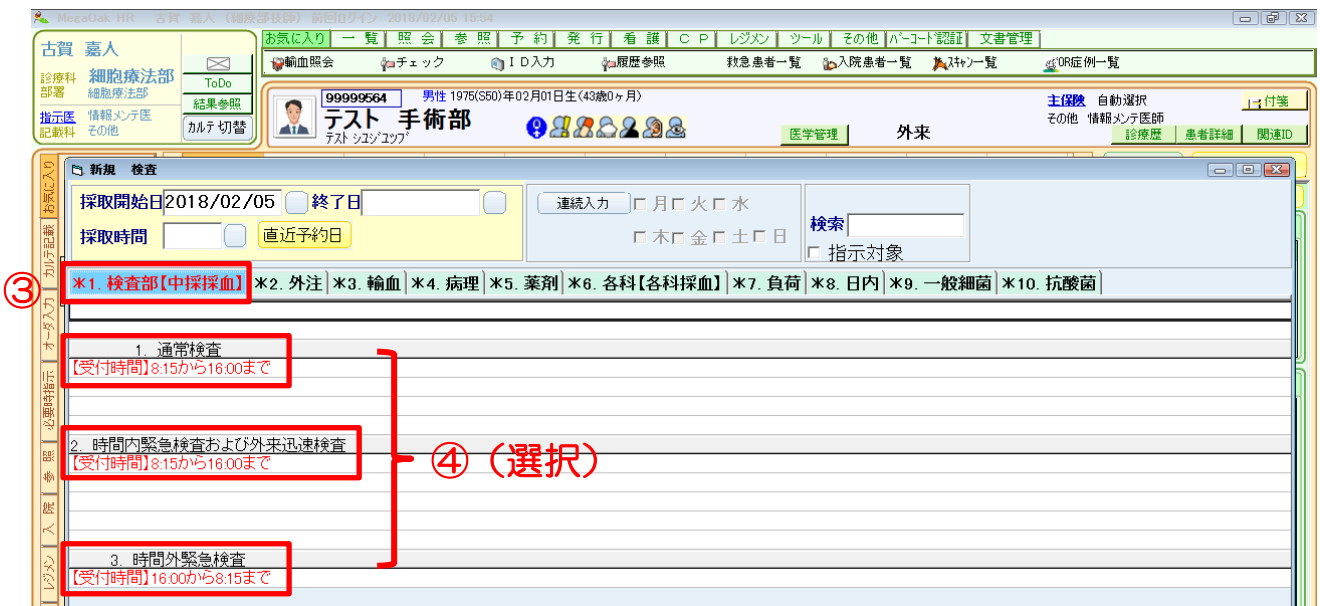
## 10. 検査依頼手順

**【検体系検査1】** 生化学, 血液(骨髓像を含む), 免疫血清, 一般

- ① 電子カルテのオーダー入力をクリック
- ② 検査をクリック

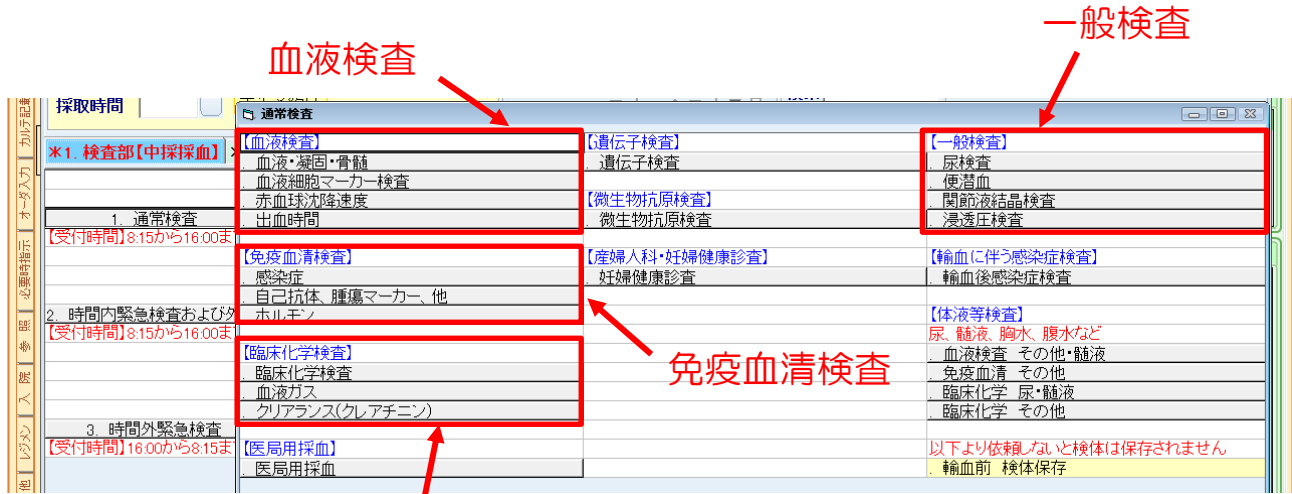


- ③ \* 1. 検査部【中採採血】を選択
- ④ 1. 通常検査、2. 時間内緊急検査および外来迅速検査、3. 時間外緊急検査から該当するものを選択



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

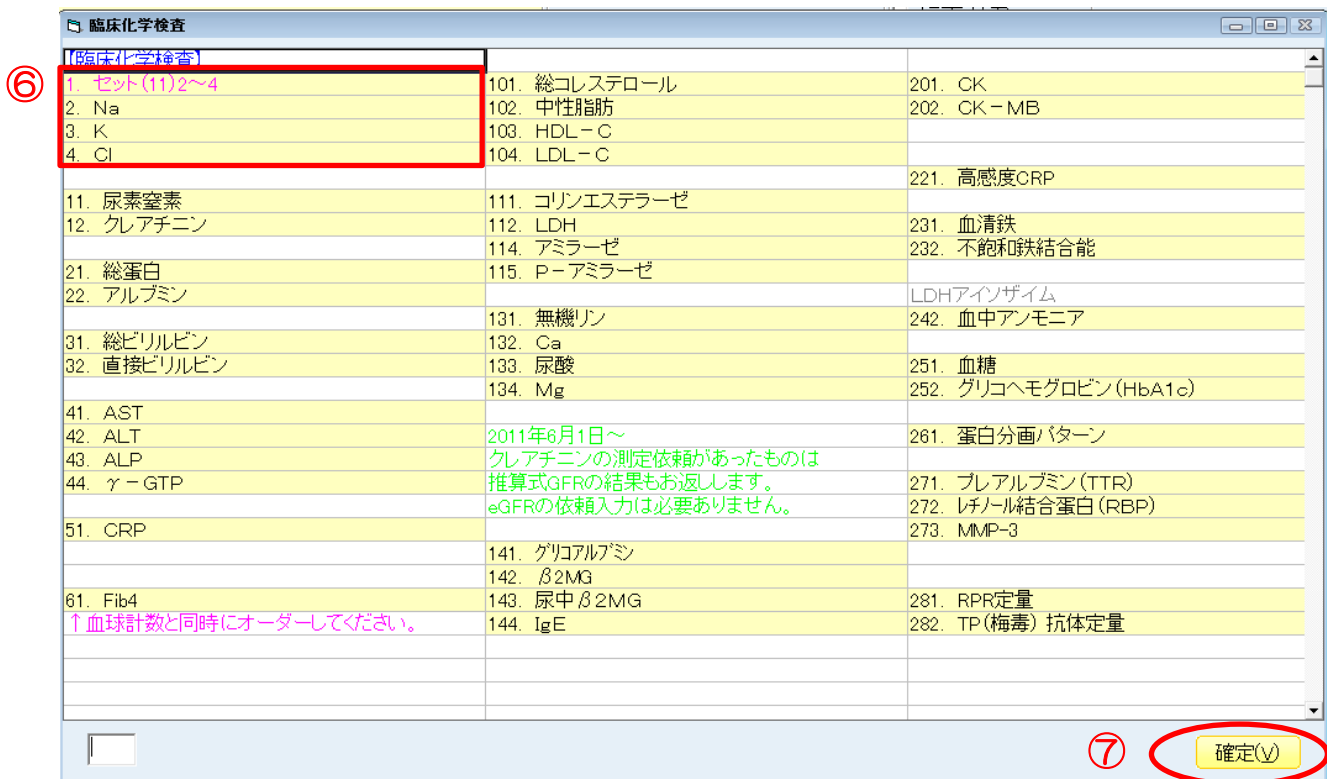
⑤【臨床化学検査】の臨床化学検査をクリックすると各検査の項目が表示される



⑤ 生化学検査

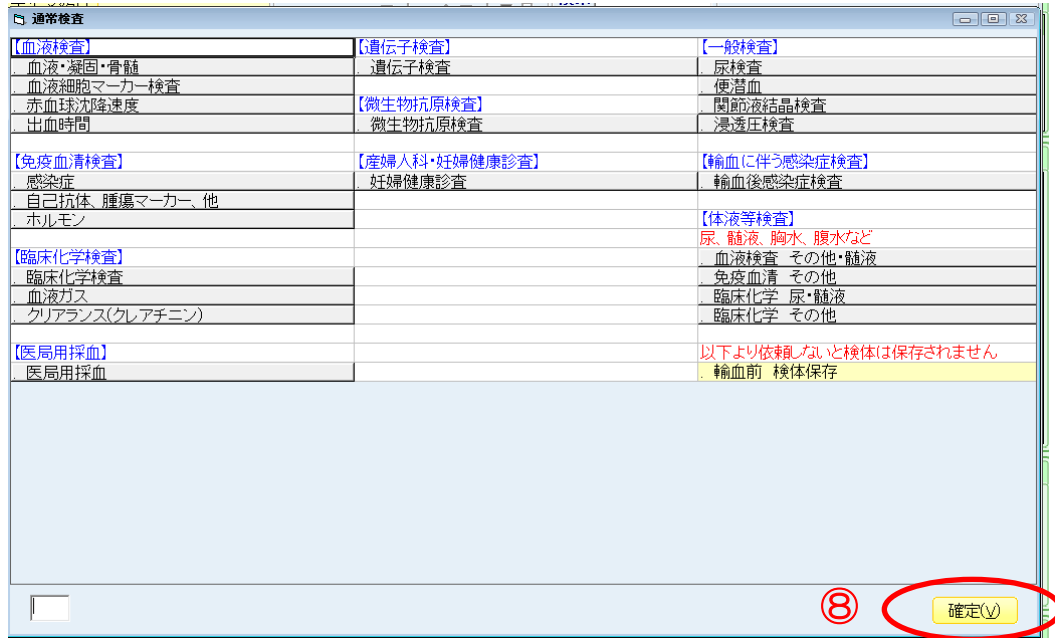
⑥検査項目を選択

⑦すべての検査項目の選択が完了したら、**確定** をクリック



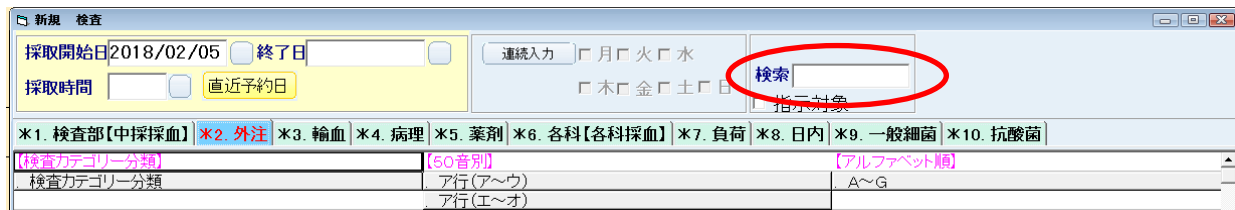
長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

⑧\* 1. 検査部【中央採血】画面で **確定** をクリック



**\* 外注検査項目がどこに有るか分からない時は検索で探せます。**

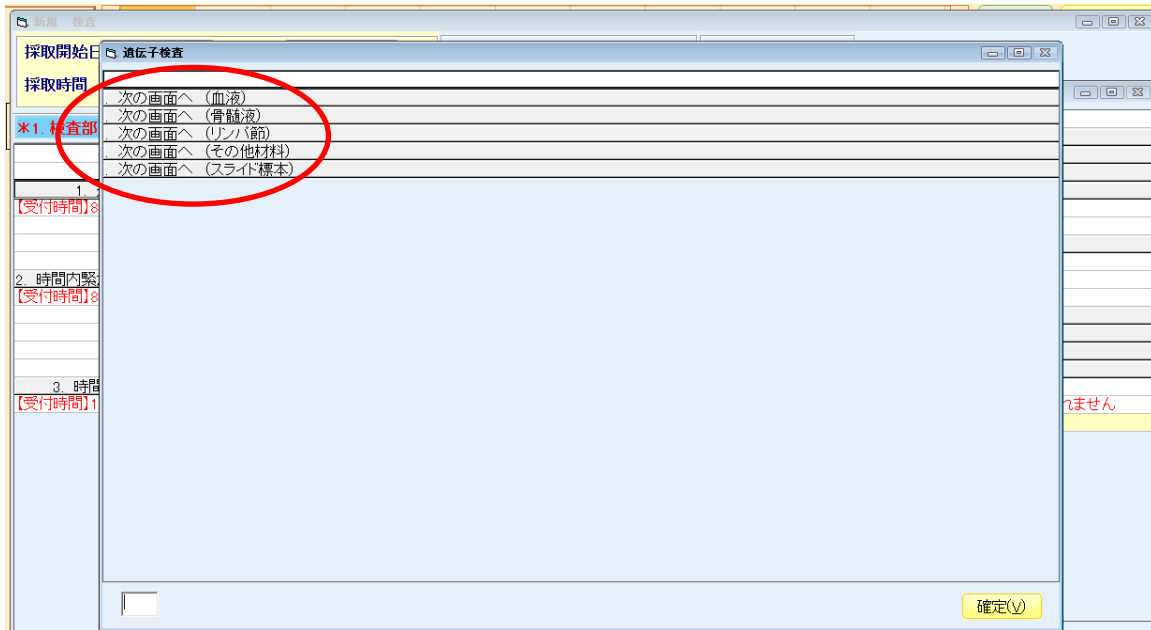
それでも分からない時はサテライト検査室 PHS(96905)または外注担当者 PHS(96904)へ連絡してください。



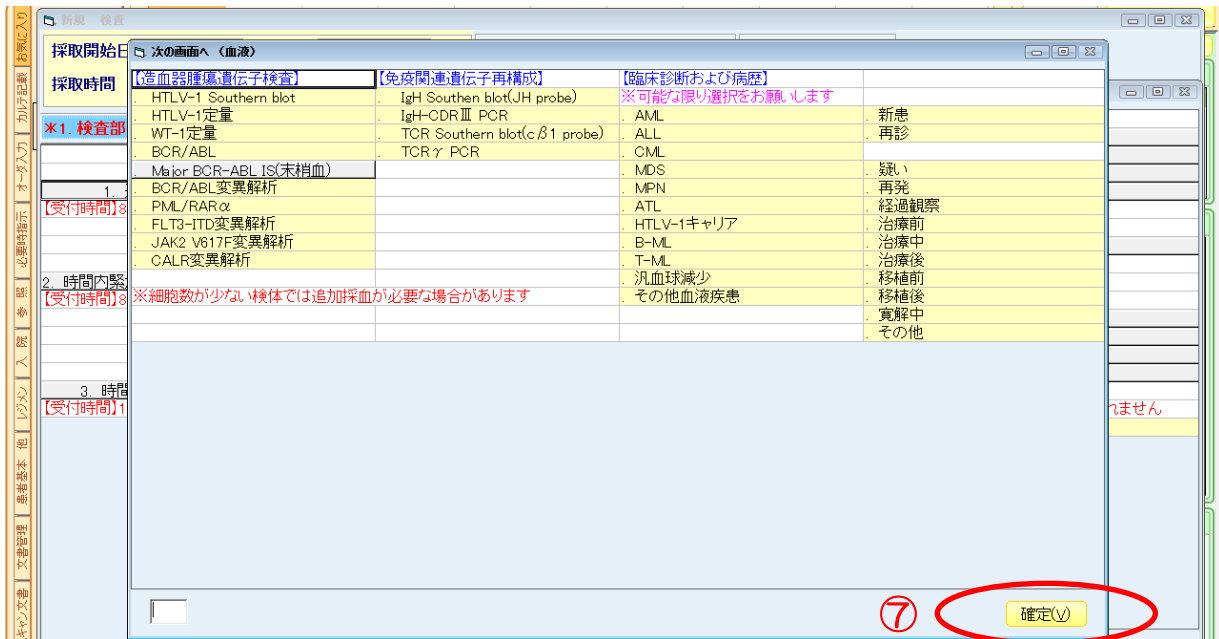


**【遺伝子検査】**

- ①～③までは、検体系 1 と同じ
- ④ 1. 通常検査を選択
- ⑤ **【遺伝子検査】** をクリック



- ⑥ 検体種を選択画面が出てくるので検査種をクリックして選択



- ⑦ 検査項目選択画面が出てくるので検査項目と臨床診断および病歴を選択し**確定**をクリック

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

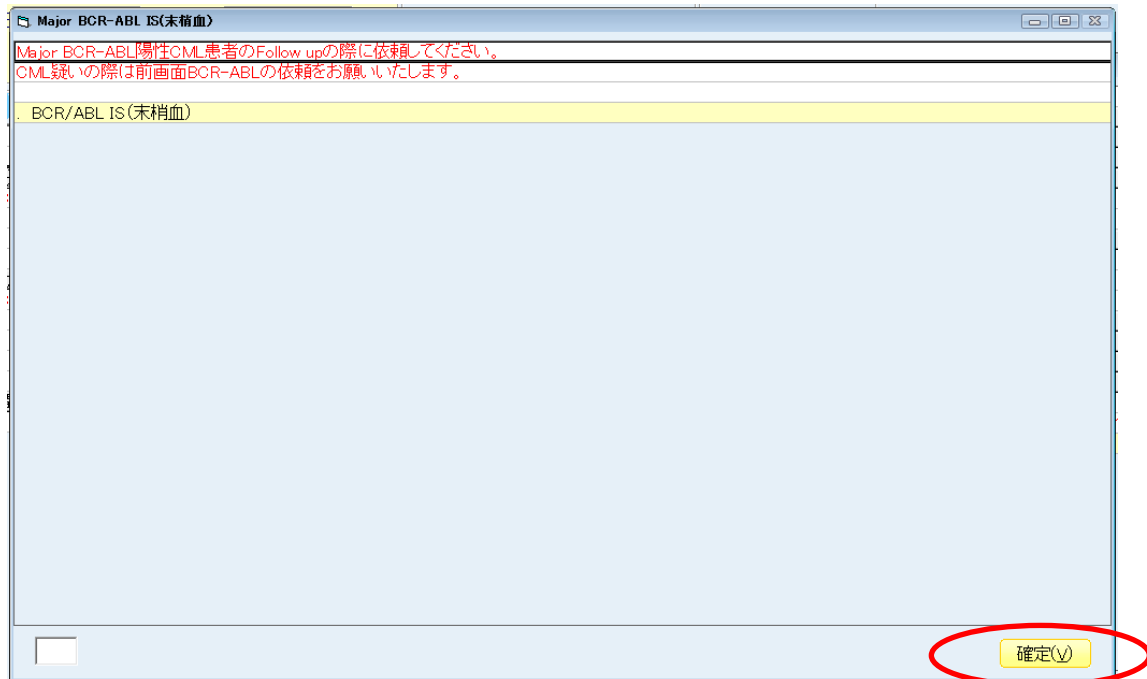
## 【遺伝子検査2】

Major BCR-ABL IS のオーダーの場合

①～⑤までは、遺伝子検査と同じ

⑥検体種を選択画面が出てくるので検体種をクリックして選択

そこで「Major BCR-ABL IS」のオーダーの場合



⑦「Major BCR-ABL IS（末梢血）」をクリックすると上記の画面になるので、

ここで再度「BCR/ABL IS（末梢血）」をクリックして選択後、**確定** をクリック

※Major bcr-abl は Major bcr-abl 陽性 CML 患者の Follow up にのみオーダーすることができ、それ以外は保険適応外となります。

診断目的の Major bcr-abl は、前画面の BCR/ABL をオーダーして下さい。

⑦すべての検査項目の選択が完了したら、**確定** をクリックして終了

※RAS/BRAF 変異検査オーダー時でスライド標本の持参がない場合（病理診断科・病理部保管のブロックから切り出し依頼の場合）は、カルテ記載→文書入力→遺伝子関連外注用依頼書（1）に必要事項を入力・印刷後、オーダーのバーコードラベルを添付してサテライト検査室まで提出して下さい。

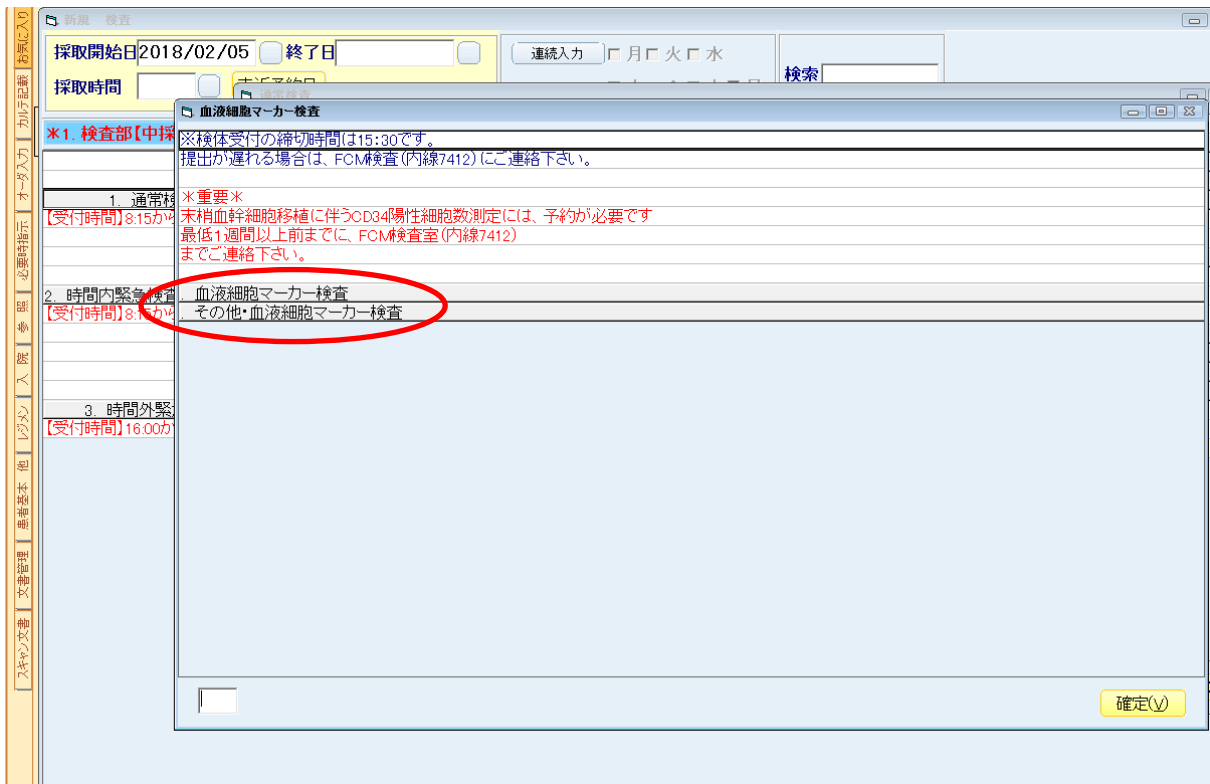
長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

**【血液細胞マーカー検査】**

- ①～③までは、検体系1と同じ
- ④ 1. 通常検査を選択
- ⑤ **【血液検査】** の血液細胞マーカー検査をクリック

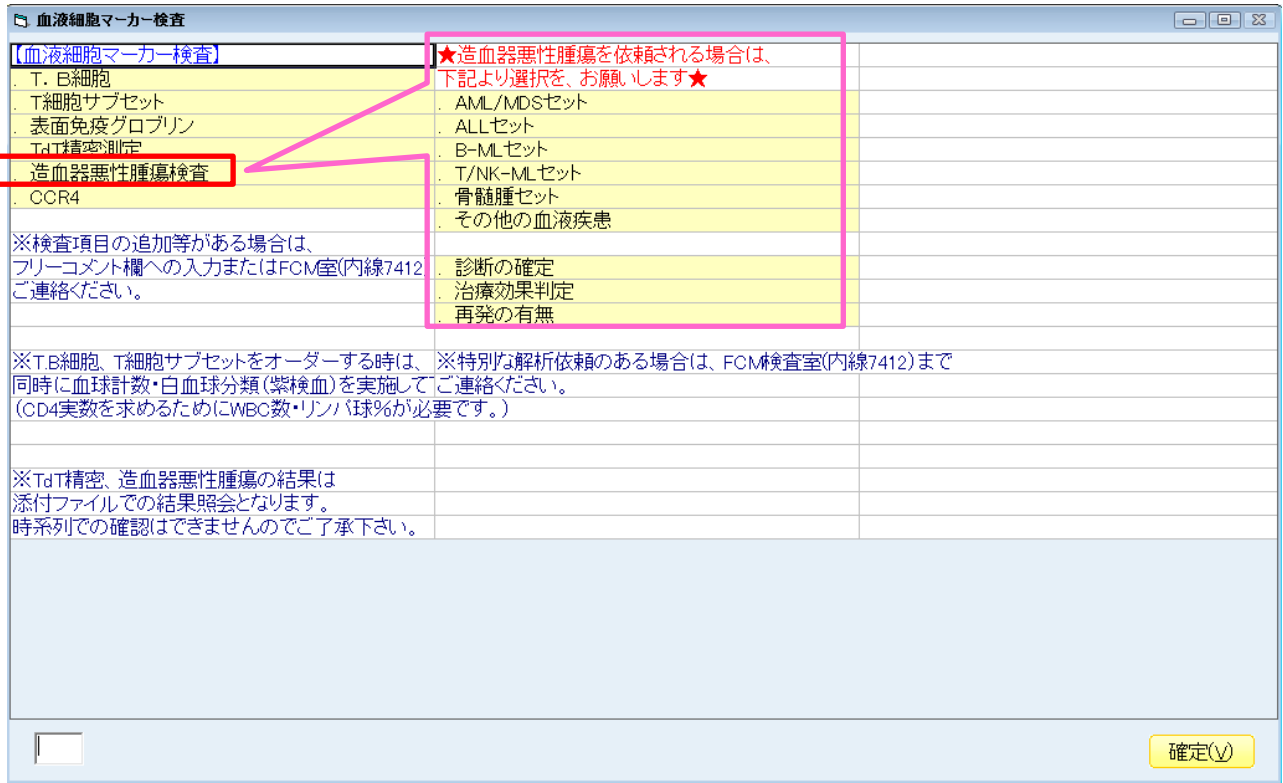


- ⑥ 検体種を選択画面が出てくるので検体種を選択  
(末梢血以外は、すべて「その他」を選択してください)



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

⑥検査項目選択画面が出てくるので、検査項目を選択し、確定をクリックする  
(このとき、造血器悪性腫瘍を選択される場合は、右側のコメントも選択してください)



※T-cell サブセット、T・B-cell 分類をオーダーされる場合は、CD4 実数計算のため血算および白血球分類を同時にオーダーし、検体採取後はできる限り速やかに提出して下さい。

※検査項目の追加等がある場合は、フリーコメント欄への入力をお願いします。

※末梢血幹細胞移植等に伴う CD34 陽性細胞数測定の際には、事前に予約の連絡をお願いします。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

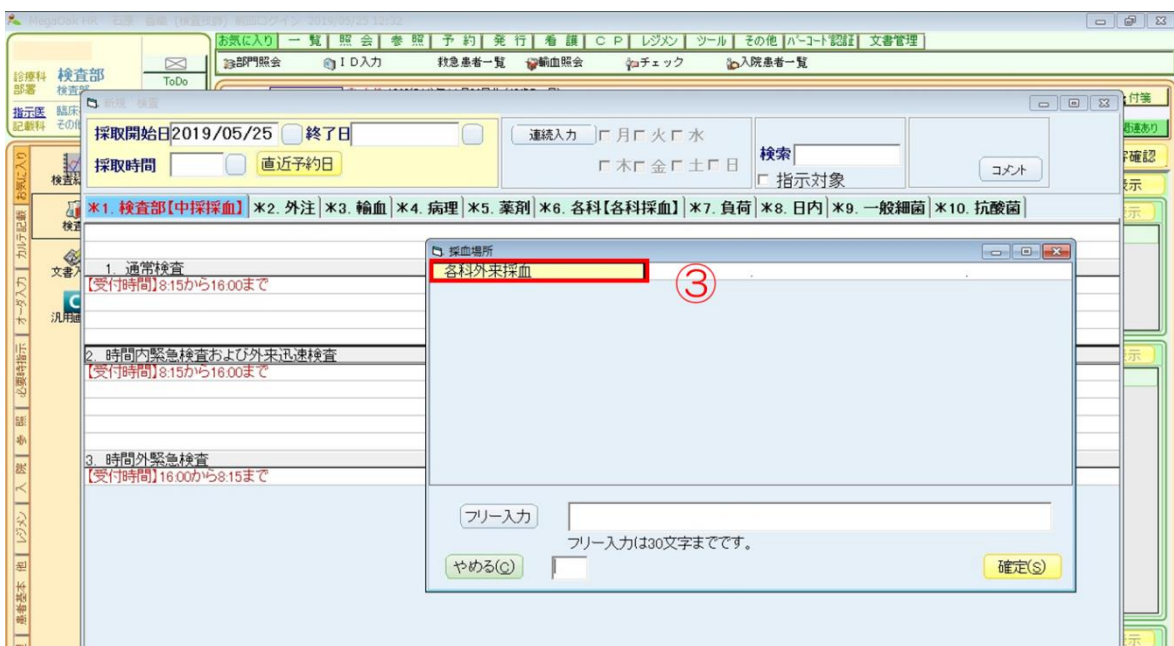
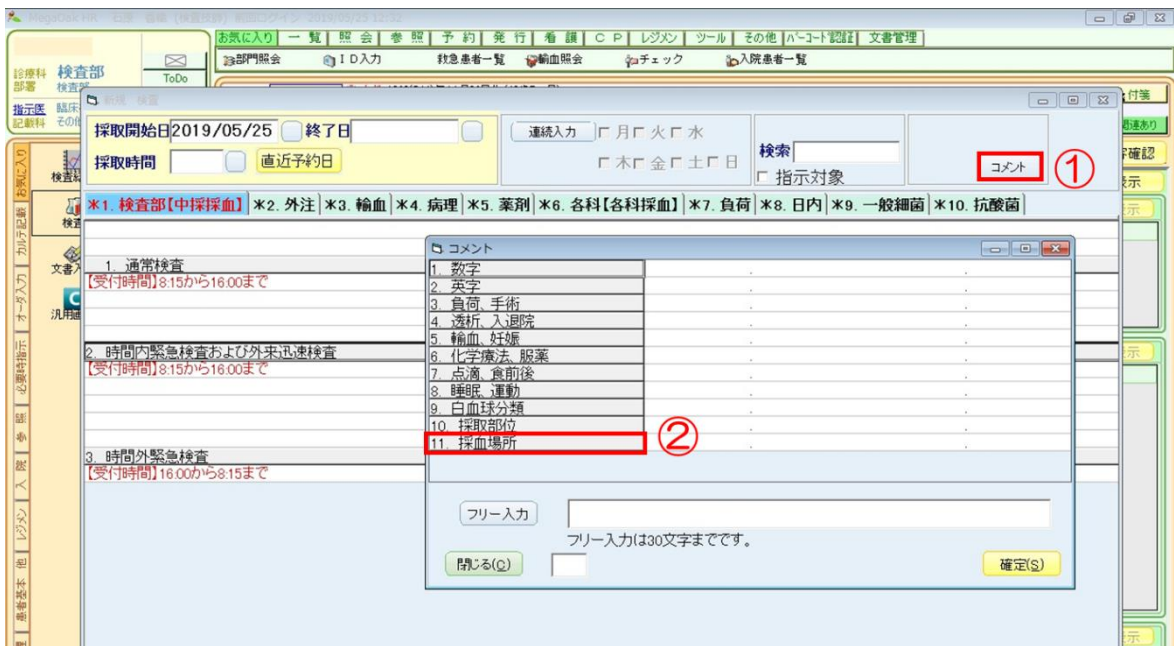
### 各科外来採血オーダー時の注意点

各科外来での採血が必要な患者さんの採血をオーダーする場合、誤って患者さんが中央採血室で受付・採血等をしないように、以下の手順で固定コメントを入力後オーダーしてください。

下記以外の方法以外では「各科外来採血あり」と認識することができませんのでご注意ください。

### コメント入力手順

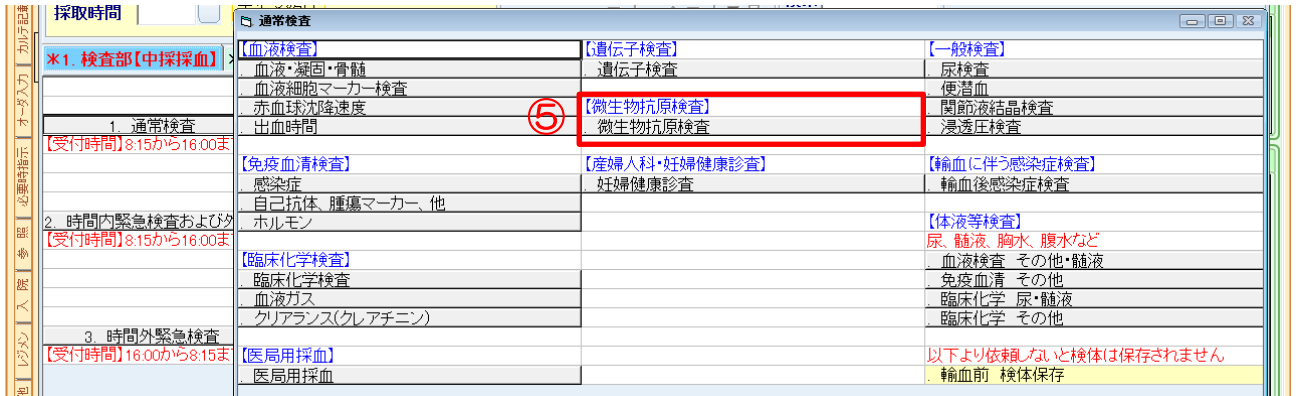
コメントをクリック (①) ⇒ 11.採血場所をクリック (②) ⇒ 各科外来採血を選択 (③)



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

【微生物検査1】抗原検査

- ①～③までは検体系検査と同じ  
④ 1. 通常検査を選択



- ⑤ 微生物抗原検査をクリックすると検査項目の選択画面が表示される



- ⑥ すべての検査項目の選択が完了したら、**確定** をクリックして終了

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

**【微生物検査2】** 一般細菌

- ①②は検体系検査と同じ
- ③\*9. 一般細菌を選択



- ④材料を選択する
- ⑤検査対象の選択：一般細菌培養(好気・嫌気・真菌)、MRSA 監視培養検査  
GBS スクリーニング(産婦人科のみ対象)
- ⑥特殊菌培養の選択(必要時のみ)
- ⑦推定感染症名・基礎疾患・使用抗菌薬の選択

⑤ 1. 一般細菌培養検査(好気・嫌気・真菌) ●スクリーニング検査  
1. MRSASスクリーニング  
2. GBSスクリーニング(産婦人科のみ)

⑥ 一般細菌に加えて必要な場合のみ選んでください  
【特殊培養菌】

⑦

⑧

やめる コメント入力() 確定(V)

⑧すべての項目の選択が完了したら、**確定** をクリックして終了



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

**【微生物検査3】抗酸菌検査**

①②は検体系検査と同じ

③\*10. 抗酸菌を選択

④材料の選択

- ⑤検査対象の選択：1.抗酸菌検査のみ 2.抗酸菌検査・培養検査  
3.結核菌(PCR) 4.非結核性抗酸菌(PCR)

\* 抗酸菌(PCR)は通常、毎週月・木曜日に検査します。

\* 血液・骨髓液はEDTA入り採血管で月経血は綿棒で採取して下さい。

⑥臨床所見・推定感染症名・基礎疾患・使用抗結核剤の選択

⑤

<p>⑤</p> <p>【抗酸菌培養検査】</p> <p>1. 抗酸菌鏡検のみ 2. 抗酸菌鏡検・培養検査</p>	<p>⑤</p> <p>【PCR検査】</p> <p>3. 結核菌 (PCR) 4. 非結核性抗酸菌 (PCR) (Mavium, Mintracellulare)</p>
---	--

血液・骨髄血は、EDTA入り採血管で採取して下さい  
月経血は綿棒で採取して下さい

核酸増幅(PCR)は、通常毎週 月・木曜日 に測定し  
翌日報告します

⑥

<p>●臨床所見●</p> <p>11. 入院時スクリーニング検査 12. 治療効果判定 13. 退院時検査 14. 結核症疑い 15. 非結核性抗酸菌症の疑い 16. 一般病棟入院中 17. 結核病棟入院中</p> <p>【臨床所見】</p> <p>18. 発熱あり 19. 痰・咳の増加 20. 胸部X線異常陰影 21. 心嚢水貯留 22. 胸水貯留 23. ツ反陽性 24. 上記の症状なし</p>	<p>●推定感染症名●</p> <p>31. 肺結核 32. リンパ節結核 33. 粟粒結核 34. 結核性髄膜炎 35. 結核性胸膜炎 36. 結核性腹膜炎 37. 尿路結核 38. 腸結核 39. 性器結核 40. 皮膚結核 41. 結核性関節炎 42. 耳鼻科領域感染症 43. 眼科領域感染症 44. 不明熱 45. 非結核性抗酸菌症 46. その他</p>	<p>●基礎疾患●</p> <p>51. 発熱あり 52. 渡航歴あり</p> <p>【基礎疾患】</p> <p>53. 血液疾患 54. 悪性新生物 55. 膠原病 56. 糖尿病 57. 腎疾患 58. 循環器疾患 59. 消化器疾患 60. 脳血管障害 61. 呼吸器疾患 62. 肝胆臓疾患 63. 先天性免疫不全症 64. 後天性免疫不全症 65. アレルギー疾患 66. 熱傷 67. 外傷</p> <p>●使用抗結核薬●</p> <p>91. 投薬なし 92. イソニアジド 93. リファンピジン 94. エタンブトール 95. ストレプトマイシン 96. カナマイシン</p>	<p>68. 褥創 69. その他の基礎疾患 70. 特になし</p> <p>【医原性因子】</p> <p>71. 臓器移植 72. 手術前 73. 手術後 74. 透析 75. ステロイド投与 76. 抗癌剤投与 77. 免疫抑制剤投与 78. 放射線治療 79. 血管内カテーテル 80. 尿道カテーテル 81. レスビレータ装着 82. その他の体内挿入物 83. その他の医原性因子</p> <p>97. ビラジナマイド 98. パラアミノサリチル酸 99. ニューキノロン系(シプロキサシ・クラビット) 100. マクロライド系(エリスロシン・クラリス等) 101. その他の抗菌薬 102. 不明</p>
--	---	---	--

やめる  コメント入力

⑦

スタート | イントラネットシステム | PHS/内線番号/メー | ポータル Ver 7.0.0 | MegaOak HR | B\_LUK (##SV-CIFS... | B\_IRJ (##SV-CIFS1... | 20180205 電カ検... | 新規 検査 - 詳... | 13:22

⑦すべての項目の選択が完了したら、**確定** をクリックして終了



長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

＊呼吸機能検査

*1. 心電図	*2. 呼吸機能	*3. 脳波	*4. 筋電図	*5. 循環器内科・心臓血管外科・小児科専用	*6. 運動負荷	*7. 超音波センター	*8. 超音波
<p>【呼吸機能検査】</p> <p>患者様に負担をかける検査ですので、検査時の事故を防ぐために注</p> <p>(セット項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VC+F-V曲線(2項目)</li> <li>VC+F-V曲線+FRC+CV+DLCO(5項目)</li> <li>VC+F-V曲線+FRC+DLCO(4項目)</li> <li>VC+FRC+DLCO ※DLCOのみでも選択して下さい</li> <li>VC+F-V曲線+FRC</li> <li>VC+F-V曲線+CV</li> </ul> <p>※注意事項</p> <p>基本的に1項目1pointです</p> <p>次の時間帯のpoint数を含めて予約できます</p> <p>心電図検査から先に実施して下さい</p> <p>身長、体重を患者基本オーダーで確認、入力して下さい</p> <p>コメント選択、日時予約、依頼情報(病名、目的)は必須入力です</p> <p>感染の可能性がある患者様はなるべく16時から予約して下さい</p>		<p>至急・外未で枠がい方は電話連絡して下さい 内線:7416</p> <p>意が必要な場合7-コメント、又は患者情報欄に入力をお願いします</p> <p>(単項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸素消費量(酸素摂取量)</li> <li>薬剤負荷試験(可逆性試験)4point</li> <li>主治医同伴です 使用する薬剤を持参して下さい</li> <li>吸入器、ネブライザーも必ず持参して下さい。</li> </ul> <p>※2項目以上依頼がある場合、必ずセット項目から選択して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肺気量分画(VC)</li> <li>フローボリューム曲線(F-V曲線、1秒率、1秒量)</li> <li>機能的残気量(FRC)</li> <li>クロージングボリューム(CV、換気分布検査)</li> <li>肺拡散能(DLCO) ※DLCOを調べるにはVC、FRCが必要です</li> </ul>					

＊脳波検査

*1. 心電図	*2. 呼吸機能	*3. 脳波	*4. 筋電図	*5. 循環器内科・心臓血管外科・小児科専用	*6. 運動負荷	*7. 超音波センター	*8. 超音波
<p>【脳波検査】</p> <p>小児科</p> <p>↑ 小児科は必ずこちらから依頼入力して下さい。</p> <p>その他の科(小児科以外)</p> <p>判読を自診療科で行わない場合は、判読を行う診療科の外未診療扱いとなります。</p> <p>従って、判読を依頼する場合は、事前に判読を行う診療科との申し合わせの上、依頼を行って下さい。</p>							

④依頼検査項目を選択し、「病名」「検査目的」「感染状況」を入力後に、「予約時間」を設定する

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

**【細胞療法部】**

- ①②は検体系検査と同じ
- ③\* 3. 輸血を選択

採取開始日 2018/02/05 終了日  連続入力  月  火  水  木  金  土  日 検索  指示対象

採取時間  直近予約日 **③**

\*1. 検査部【中採採血】 \*2. 外注 \*3. 輸血 \*4. 病理 \*5. 薬剤 \*6. 各科【各科採血】 \*7. 負荷 \*8. 日内 \*9. 一般細菌 \*10. 抗酸菌

【細胞療法部 輸血管理室】

01. ABO, Rh(D)		101. 輸血前検体保存
02. 不規則抗体検査		
04. 直接クームス試験		102. 交差適合試験用採血
05. 間接クームス試験		
06. Ham試験	Ham, D-L試験, 砂糖水試験は、患者血液と同型の	
07. Donath-Landstainer	健康人血液プレン7mlを提出してください。	
08. 砂糖水試験		
09. 抗A抗体価	抗A, 抗B抗体価, ABO亜型は必ず事前に	【自己血用感染症検査】
10. 抗B抗体価	細胞療法部輸血管理室に電話連絡が必要です。	- 感染症検査費用は自己血貯血料に含まれます。-
	内線 7455	201. 自己血 HTLV-I抗体
11. ABO式血液型型の検査		202. 自己血 HIV抗原・抗体

やめる (C)  クリア 選択内容 **⑤** **確定 (V)**

- ④検査項目をクリックして選択する
- ⑤検査したい項目を全て選択したら**確定**をクリックして終了

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 11. 電子カルテシステム停止時の紙伝票

### 停電時(電子カルテ停止時)の運用

- ①各検査申込書に必要事項(患者 ID,氏名,生年月日,N/G 区分,診療科・病棟,提出医など)を記入
- ②検査項目にマークを付ける。
- ③検査項目指定の採血管で必要量採血または、採取容器に採取し検体保存法に準じて提出する。
- ④検査結果は検査報告書にて報告(電子カルテ復旧後オンライン結果照会画面より報告)

### 各種時間内検査申込書一覧

生化学検査申込書(1)

(①事務課用)

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟・診療科 提出医 連絡先(PH-S)
-----------------------	-------------------------------------

---

### 生化学検査申込書(1)

採血量(6mL)1項目でも1mL以上採血して下さい。

<input type="checkbox"/> Na	65405	<input type="checkbox"/> AST(GOT)	62016	<input type="checkbox"/> RF	定置 602165
<input type="checkbox"/> K	65402	<input type="checkbox"/> ALT(GPT)	65606	<input type="checkbox"/> IgA	64712
<input type="checkbox"/> Cl	65405	<input type="checkbox"/> アルカリ・フォスファターゼ	62032	<input type="checkbox"/> IgG	64711
<input type="checkbox"/> 無機リン	65406	<input type="checkbox"/> GGT(γ-GTP)	65614	<input type="checkbox"/> IgM	64713
<input type="checkbox"/> Ca	65404	<input type="checkbox"/> コリンエステラーゼ	65607	<input type="checkbox"/> 血清補体総(C3E50)	64760
<input type="checkbox"/> 尿酸	65122	<input type="checkbox"/> LDH(LDH)	65635	<input type="checkbox"/> C3	61264
<input type="checkbox"/> Ma	62099	<input type="checkbox"/> アミラーゼ	65603	<input type="checkbox"/> C4	61268
<input type="checkbox"/> 尿素窒素	65126	<input type="checkbox"/> ト・アミラーゼ	65099	<input type="checkbox"/> プレアルブミン(TTR)	600821
<input type="checkbox"/> クレアチニン	65123	<input type="checkbox"/> CK(CPK)	65613	<input type="checkbox"/> レチノール結合蛋白(RBP)	62041
<input type="checkbox"/> 総蛋白	65102				
<input type="checkbox"/> アルブミン	62096	<input type="checkbox"/> 血清鉄	61156		
<input type="checkbox"/> 遊離ビリルビン	65904	<input type="checkbox"/> 不飽和鉄結合能	比色 60244	<input type="checkbox"/> ハプトグロビン	64800
<input type="checkbox"/> 遊離ビリルビン	65903			<input type="checkbox"/> トランスフェリン	65280
<input type="checkbox"/> 総コレステロール	65304	<input type="checkbox"/> CRP	64309	<input type="checkbox"/> 尿中FDP	600049
<input type="checkbox"/> 中性脂肪	65306	<input type="checkbox"/> 高感度CRP	64309		
<input type="checkbox"/> HDLコレステロール	65309	<input type="checkbox"/> 毛細管CRP	64309	<input type="checkbox"/> 蛋白分解	61181
<input type="checkbox"/> LDLコレステロール	61455				
		<input type="checkbox"/> アンモニア	65127		
				<input type="checkbox"/> GLU	65201
				<input type="checkbox"/> グリコヘモグロビン(HbA1c)	62964
<input type="checkbox"/> ICG	61706	<input type="checkbox"/> 負荷血糖			65212

\* NaP採血管に2mL採血して下さい。

報告書に印字したいコメントを15文字以内で書いて下さい。

長崎大学病院

生化学検査申込書(2)

(①検査部用)

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟 診療科 提出医 連絡先(PH-S)
-----------------------	--

提出 月 日 時 分

---

### 生化学検査申込書(2)

(①検査部用)

検体  血清  尿  その他  
 時間内  外来迅速検査

項 目	項 目		
<b>【甲状腺・副甲状腺】</b>	<b>【糖代謝】</b>		
<input type="checkbox"/> Free T3	64065	<input type="checkbox"/> インスリン	64190
<input type="checkbox"/> Free T4	64046	<input type="checkbox"/> C-ペプチド	血清 64316
<input type="checkbox"/> TSH	64246		尿 64247
<input type="checkbox"/> サイログロブリン	64167	<b>【下重体ホルモン】</b>	
<input type="checkbox"/> intact PTH	64025	<input type="checkbox"/> 黄体形成ホルモン(LH)	63611
		<input type="checkbox"/> 卵巣刺激ホルモン(FSH)	64173
<b>【副腎皮質】</b>		<input type="checkbox"/> プロラクチン	61267
<input type="checkbox"/> コルチゾール	64161	<b>【性腺・胎盤ホルモン】</b>	
		<input type="checkbox"/> HCG-β	602114
<b>【腫瘍マーカー】</b>		<input type="checkbox"/> エストラジオール	600479
<input type="checkbox"/> CA19-9	64120	<input type="checkbox"/> プロゲステロン	64270
<input type="checkbox"/> CA125	63526		
<input type="checkbox"/> CEA	64362	<b>【その他】</b>	
<input type="checkbox"/> Total-PSA	69554	<input type="checkbox"/> NT-proBNP	601952
<input type="checkbox"/> F/T 比	60811	<input type="checkbox"/> 高感度トロポニンT	69601
<input type="checkbox"/> AFP	64363	<input type="checkbox"/> プロカルシトニン	定置 602113
<input type="checkbox"/> フェリチン	602110		

○ 備考

長崎大学病院

### 血清検査申込書

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟 診療科 提出医 連絡先 (PHS)
-----------------------	--

提出 月 日 時 分

#### 血清検査申込書

(①検査部用)

検体 <input type="checkbox"/> 血液 (分離入り採血管) <input type="checkbox"/> 尿 <input type="checkbox"/> その他	検体 <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 髄液 <input type="checkbox"/> 時間内 <input type="checkbox"/> 外来迅速検査
--	--

項目	項目
<b>【感染症】</b> <input type="checkbox"/> RPRテスト定性 64211 <input type="checkbox"/> TPPIA法定性 64073 <input type="checkbox"/> RPRテスト定量 64073 <input type="checkbox"/> TPPIA法定量 602127 <input type="checkbox"/> Hbs-抗原 60422 <input type="checkbox"/> Hbs-e-抗体 60682 <input type="checkbox"/> Hbs-e-抗体 60682 <input type="checkbox"/> Hbs-抗原 64144 <input type="checkbox"/> Hbs-抗体 64579 <input type="checkbox"/> HCV抗体 64027 <input type="checkbox"/> HIV抗原-抗体 64455 <input type="checkbox"/> 抗HTLV-抗体 64030  <input type="checkbox"/> 寒冷凝集反応 64306 <input type="checkbox"/> 寒冷凝集反応-室温 64306 <input type="checkbox"/> マイコプラズマ抗体 (PA法) 64409	<b>【自己抗体】</b> <input type="checkbox"/> LEテスト 64308 <input type="checkbox"/> サイロド-マイクロゾーム 64413-64414 <input type="checkbox"/> 抗核抗体 蛍光抗体法 (半定量) 602169 <input type="checkbox"/> 抗ENA抗体 <input type="checkbox"/> 抗RNP抗体定量 602144 <input type="checkbox"/> 抗S-m抗体定量 602148 <input type="checkbox"/> 抗SS-A/Ro抗体定量 602148 <input type="checkbox"/> 抗SS-B/La抗体定量 602150 <input type="checkbox"/> 抗SS-p/R抗体定量 602152 <input type="checkbox"/> 抗DNA抗体定量 602153 <input type="checkbox"/> 抗ss-DNA抗体 <input type="checkbox"/> 抗ds-DNA抗体 <input type="checkbox"/> 抗カルジオリピン抗体 60104 <input type="checkbox"/> 抗CCP抗体 602155  <b>【その他】</b> <input type="checkbox"/> PIVKA-II 602118 <input type="checkbox"/> KL-6 604902 <input type="checkbox"/> IgE 69508 <input type="checkbox"/> sIL-2R 可溶性インターロイキン-2レセプター 65324 <input type="checkbox"/> B2-マイクログロブリン 60249 <input type="checkbox"/> 尿中B2-マイクログロブリン 69541  <input type="checkbox"/> 免疫電気泳動 65321 <input type="checkbox"/> 尿免疫電気泳動 60355  <b>【外来迅速検査】</b> <input type="checkbox"/> マイコプラズマ抗体 (EIA・定性法) 64409

長崎大学病院

### 血液凝固検査申込書

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟 診療科 提出医 連絡先 (PHS)
-----------------------	--

提出 月 日 時 分

#### 血液凝固検査申込書

(①検査部用)

検体 <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 髄液 <input type="checkbox"/> 時間内 <input type="checkbox"/> 外来迅速検査	検体 <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 髄液 <input type="checkbox"/> 時間内 <input type="checkbox"/> 外来迅速検査
--	--

項目	項目
<b>【血液検査】</b> <input type="checkbox"/> 血算 62100 <input type="checkbox"/> 白血球分類 602101注1 <input type="checkbox"/> 網赤血球 62104  <input type="checkbox"/> 赤血球沈降速度 61027	<b>【凝固検査】</b> <input type="checkbox"/> PT 61040 <input type="checkbox"/> APTT 62226 <input type="checkbox"/> フィブリノーゲン 65106 (半定量) <input type="checkbox"/> ATIII 602103 <input type="checkbox"/> α2-PI 65054 <input type="checkbox"/> PLG (プラスミノゲン) 活性 62171 <input type="checkbox"/> プロテインC 活性 600196 <input type="checkbox"/> FDP 600177 <input type="checkbox"/> Dダイマー 600181 <input type="checkbox"/> FMC (フィブリンモノマー複合体 62184) <input type="checkbox"/> 第Ⅲ因子 62157 <input type="checkbox"/> 第Ⅴ因子 62162

備考  
 注1: 紙運用時は目視のオーダーはできません。

長崎大学病院

### 髄液・その他 検査申込書

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟・診療科 提出医 連絡先 (PHS)
-----------------------	-------------------------------------

#### 髄液・その他 検査申込書

(①検査部用)

髄液	その他 (血液以外)
<b>血液検査</b> <input type="checkbox"/> 血算 62100  <b>生化学検査</b> <input type="checkbox"/> Na 65405 <input type="checkbox"/> K 65402 <input type="checkbox"/> Cl 65405  <input type="checkbox"/> 総蛋白 65102 <input type="checkbox"/> LDH 65635 <input type="checkbox"/> GLU 65201  <input type="checkbox"/> 蛋白分画 61181	<b>血液検査</b> <input type="checkbox"/> 血算 62100  <b>生化学検査</b> <input type="checkbox"/> Na 65405 <input type="checkbox"/> 無機リン 65486 <input type="checkbox"/> K 65402 <input type="checkbox"/> Ca 65404 <input type="checkbox"/> Cl 65405 <input type="checkbox"/> 尿酸 65122 <input type="checkbox"/> 尿素窒素 65126 <input type="checkbox"/> Mg 62099 <input type="checkbox"/> クレアチニン 65123 <input type="checkbox"/> 総コレステロール  <input type="checkbox"/> 総蛋白 65102 <input type="checkbox"/> 中性脂肪 65304 <input type="checkbox"/> アルブミン 62096 <input type="checkbox"/> HDLコレステロール 65309 <input type="checkbox"/> 総ビリルビン 65904 <input type="checkbox"/> LDLコレステロール 61455 <input type="checkbox"/> 直接ビリルビン 65903 <input type="checkbox"/> 血糖値 61156 <input type="checkbox"/> AST (GOT) 62016 <input type="checkbox"/> 不飽和脂肪酸 60244 <input type="checkbox"/> ALT (GPT) 65606 <input type="checkbox"/> GLU 65201 <input type="checkbox"/> アルカリフォスファターゼ 62032 <input type="checkbox"/> GOT (γ-GTP) 65614 <input type="checkbox"/> 蛋白分画 61181 <input type="checkbox"/> コリンエステラーゼ 65607 <input type="checkbox"/> LD/LDH 65635 <input type="checkbox"/> アミラーゼ 65603 <input type="checkbox"/> P-アミラーゼ 65099 <input type="checkbox"/> CK (CPK) 65613  <b>一般検査</b> <input type="checkbox"/> 関節液

報告書に印字したコメントを15文字以内で書いて下さい。

長崎大学病院

### 尿・便潜血 検査申込書

患者番号 氏名 生年月日・性別	入院・外来 病棟・診療科 提出医 連絡先 (PHS)
-----------------------	-------------------------------------

#### 尿・便潜血 検査申込書

(①医事課用)

一般検査 (尿定性・沈渣・便潜血)	生化学																																								
検査項目 <input type="checkbox"/> 定性 61131 <input type="checkbox"/> 沈渣 60167 便 <input type="checkbox"/> 便潜血 61213  <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>色調</td><td></td></tr> <tr><td>沈渣</td><td></td></tr> <tr><td>比重</td><td></td></tr> <tr><td>PH</td><td></td></tr> <tr><td>蛋白</td><td></td></tr> <tr><td>糖</td><td></td></tr> <tr><td>ケトン体</td><td></td></tr> <tr><td>潜血</td><td></td></tr> <tr><td>ウロビリノーゲン</td><td></td></tr> <tr><td>ビリルビン</td><td></td></tr> <tr><td>白血球</td><td></td></tr> <tr><td>亜硝酸塩</td><td></td></tr> <tr><td>赤血球</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>白血球</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>扁平上皮</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>移行上皮</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>尿細管上皮</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>硝子円柱</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>顆粒円柱</td><td>~ / HPF・LPF・WPF</td></tr> <tr><td>粘液素</td><td>細菌</td></tr> </table>	色調		沈渣		比重		PH		蛋白		糖		ケトン体		潜血		ウロビリノーゲン		ビリルビン		白血球		亜硝酸塩		赤血球	~ / HPF・LPF・WPF	白血球	~ / HPF・LPF・WPF	扁平上皮	~ / HPF・LPF・WPF	移行上皮	~ / HPF・LPF・WPF	尿細管上皮	~ / HPF・LPF・WPF	硝子円柱	~ / HPF・LPF・WPF	顆粒円柱	~ / HPF・LPF・WPF	粘液素	細菌	<input type="checkbox"/> Na 65405 <input type="checkbox"/> 尿蛋白 61114 <input type="checkbox"/> K 65402 <input type="checkbox"/> 尿中アルブミン 64155 <input type="checkbox"/> Cl 65405 <input type="checkbox"/> 尿糖 61165  <input type="checkbox"/> IP 65406 <input type="checkbox"/> 蛋白分画 (尿) 61181 <input type="checkbox"/> Ca 65404 <input type="checkbox"/> UN 65126 <input type="checkbox"/> 尿中FDP <input type="checkbox"/> CRE 65123 <input type="checkbox"/> UA 65126 <input type="checkbox"/> AMY 65603 <input type="checkbox"/> p-AMY 65099 <input type="checkbox"/> NAG 65734
色調																																									
沈渣																																									
比重																																									
PH																																									
蛋白																																									
糖																																									
ケトン体																																									
潜血																																									
ウロビリノーゲン																																									
ビリルビン																																									
白血球																																									
亜硝酸塩																																									
赤血球	~ / HPF・LPF・WPF																																								
白血球	~ / HPF・LPF・WPF																																								
扁平上皮	~ / HPF・LPF・WPF																																								
移行上皮	~ / HPF・LPF・WPF																																								
尿細管上皮	~ / HPF・LPF・WPF																																								
硝子円柱	~ / HPF・LPF・WPF																																								
顆粒円柱	~ / HPF・LPF・WPF																																								
粘液素	細菌																																								

長崎大学病院

## 微生物検査申込書

(※医事課用)

【患者ID】 入院 / 外来 (カナ) 【病棟】 【氏名】 【診療科】 【生年月日】 【性別】 男 / 女		提出日 PHS(必須) 【提出日】 年 月 日
検査項目		
<input type="checkbox"/> 一般細菌培養検査 <input type="checkbox"/> 抗酸菌培養検査 <input type="checkbox"/> MRSA監視培養検査 <input type="checkbox"/> PCR(結核菌) <input type="checkbox"/> GBSスクリーニング <input type="checkbox"/> PCR(耐結核性抗酸菌)		
検査材料		
【呼吸器】 001 □ 喀出痰 002 □ 咽頭・扁桃体拭い液 003 □ 鼻咽分泌物 004 □ 舌苔 006 □ 気管支鏡下採液:左上葉 007 □ 気管支鏡下採液:左下葉 008 □ 気管支鏡下採液:右上葉 009 □ 気管支鏡下採液:右中葉 010 □ 気管支鏡下採液:右下葉 011 □ 気管支鏡下採液:2AL採液 012 □ 気管支鏡下採液:TFA 013 □ 気管支鏡下採液:その他 014 □ その他呼吸器 015 □ 気管チューブ 110 □ 気管切開部 016 □ 肺野吸引物 017 □ その他呼吸器 【尿路】 018 □ 中段尿 019 □ マッサージ尿 020 □ カテーテル尿 021 □ 膀胱尿検査 022 □ その他尿尿 【消化器】 023 □ 便 025 □ 胆汁:胆汁・胆汁中 026 □ 胆汁:ドレナージ 027 □ 胆汁:その他胆汁 028 □ 胃液 030 □ 胃管:胃前腔部 031 □ 胃管:胃後部	【血液・穿刺液】 ※セット数は□で書く 032 □ 動脈血:1・2・3セット 033 □ 静脈血:1・2・3セット 035 □ 髄液:穿刺 036 □ 髄液:ドレナージ 038 □ 胸水:穿刺 039 □ 胸水:ドレナージ 041 □ 腹水:穿刺 042 □ 腹水:ドレナージ 043 □ 腹水:CAPD 044 □ 腹水:その他腹水 046 □ 関節液:穿刺 047 □ 関節液:ドレナージ 048 □ 血液:骨髄血 049 □ 血液:静脈血 051 □ 血液:月経血 052 □ 血液:心臓血 053 □ 血液:羊水 054 □ 血液:その他 【膿】 055 □ 膿性膿:膿部 057 □ 膿性膿:膿部・膿蓋 058 □ 膿性膿:口腔内 059 □ 膿性膿:肛門 060 □ 膿性膿:尿道 061 □ 膿性膿:膿部 062 □ 膿性膿:膿部 063 □ 膿性膿:肛門周囲 064 □ 膿性膿:その他 【その他】 065 □ 非膿性:膿部・膿蓋 066 □ 非膿性:口腔内 067 □ 非膿性:尿道 068 □ 非膿性:肛門周囲 069 □ 非膿性:尿道 070 □ 非膿性:尿道 071 □ 非膿性:尿道 072 □ 非膿性:尿道 073 □ 非膿性:肛門周囲 074 □ 非膿性:その他	【分泌物】 076 □ 分泌物:耳分泌物・右 077 □ 分泌物:耳分泌物・左 078 □ 分泌物:眼分泌物・右 079 □ 分泌物:眼分泌物・左 080 □ 分泌物:皮膚分泌物 081 □ 分泌物:厚分泌物 082 □ 分泌物:その他分泌物 083 □ 分泌物:その他膿 084 □ 膿前: 【膿前】 085 □ 膿前:リンパ節 086 □ 膿前:皮膚 088 □ 膿前:皮膚 089 □ 膿前:皮膚 090 □ 膿前:皮膚 091 □ 膿前:皮膚 092 □ 膿前:皮膚 093 □ 膿前:皮膚 094 □ 膿前:その他膿前・組織 095 □ 膿前:その他 【カテーテル先端】 097 □ カテーテル:血管内 098 □ カテーテル:尿道 099 □ カテーテル:その他カテーテル 【部検材料】 101 □ 部検:膿 102 □ 部検:心臓 103 □ 部検:その他部検 【その他】 105 □ 未分類:人工弁 106 □ 未分類:結合糸 107 □ 未分類:縫合糸 108 □ 未分類:爪 109 □ 未分類:その他未分類
抗原検査		
00801 □ 大腸菌 O-157 抗原(便) 00802 □ 大腸菌 ヘリコバクテリウム(便) 00803 □ 大腸菌 トロファンテラ(便) 00804 □ 赤痢アヘリコバクテリウム(便) 00805 □ A群溶血性(電顕) 00806 □ 腸炎志原(電顕) 00807 □ レジオネラ(尿) 00808 □ 肺炎球菌(尿) 00809 □ 肺炎球菌(電顕) 00810 □ 肺炎球菌(中・真・副菌叢)	00811 □ β-D-グルカン(血液) 00812 □ カンジダ(血液) 00813 □ アズケルギア(血液) 00814 □ クリプトコッカス(血液) 00815 □ クリアコッカス(髄液)	00817 □ オニフルエンザウイルス(咽頭) 00818 □ 水痘ウイルス(電顕) 00819 □ ヒストパルモウイルス(電顕) 00820 □ マイコプラズマ抗原定性(電顕) 00821 □ アデノウイルス(尿) 00822 □ アデノウイルス(電顕) 00823 □ アデノウイルス(尿) 00824 □ ノロウイルス(便)

長崎大学病院

## 呼吸機能検査申込書

呼吸機能検査申込書(医事)	
科 階 提出日 医師 有 同伴 無	入院 外来
臨床診断	
検査目的	
希望日 月 日 午前・午後 前日実施 有 無 年 月 日	
実施日 月 日 検査担当 ( )	
男・女 才 身長 cm 体重 kg 血圧 / mmHg	検査種別 (必要な項目にチェック(✓)して下さい) 67210 □ 肺気量分画     67229 □ 呼吸ガス分析 67228 □ フローボリューム曲線 (1秒量, 1秒率) 67242 □ 気道抵抗測定 67233 □ 機能的残気量 (N <sub>2</sub> ガス洗い出し曲線) 67234 □ クロージングボリューム (換気分布検査) 67263 □ 肺拡散能
必要時は(✓)して下さい <input type="checkbox"/> 安静時換気量 <input type="checkbox"/> 最大換気量 ※負荷は主治医同伴です	
入力順序 / B U 51 / 60 コード 回数 / B U	
注意事項	
●希望日がある方は、記入してください。 ●至急の場合は、相談してください。(内線) 3 4 3 2 ●肺拡散能を希望の方は、機能的残気量もチェックしてください。(残気量がないと、拡散能の値はできません)	
その他	

長崎大学医学部附属病院検査部

## 血液型等検査・血液製剤依頼書

### 血液型等検査・血液製剤依頼票 ① 依頼元控

依頼日 年 月 日 診療科 担当医 (PHS )
患者ID 患者名 年齢 歳 男 / 女
使用場所 病棟、ICU-A、ICU-B、手術室
患者血液型 型 RHD( + / - )、不規則抗体 無 / 有 抗体名

ご記入の上、細胞療法部へ電話連絡後、検体と一緒に提出して下さい。  
 尚、時間外(夜間・休日)は血液型検査(ABO-RhD)と血液製剤のみの取り扱いとなります。

#### 【血液型等検査申し込み】

RHD( + / - ) □ 血液型検査【ABO-RhD】 検体用 □ 不規則抗体検査 検体用 □ 直接グームス試験 検体用 □ 間接グームス試験	□ Ham試験 □ Donath-Landsteiner試験 □ Sugar-Water試験 □ 抗体価(抗A / 抗B)
※採血管の種類と必要量 ・血液型用検体…EDTA 2Na 7ml ・血液型用検体…EDTA 2Na 7ml	
採血ラベルには「患者ID」「患者名」「病棟」「採血日」を記載 クロスマッチとの同時採血厳禁! 必ず別のタイミングで採血して下さい。	

※本院にて血液型未検査の場合は、血液製剤を申し込み前必ず血液型検査(ABO-RhD)を依頼して下さい。

#### 【血液製剤申し込み】

依頼製剤血液型 型 RHD( + / - )
血液製剤 赤血球液-LR □1単位( 本 ) □2単位( 本 ) 交差適合試験用採血が必要 新鮮凍結血漿-LR □120ml( 本 ) □240ml( 本 ) □480ml( 本 ) 濃厚血小板-LR □10単位( 本 ) □自己血( 本 )

※採血管の種類と必要量 ・交差適合試験用検体…EDTA 2Na 7ml ・輸血前感染症保存検体用…分離入り 6ml	
採血ラベルには「患者ID」「患者名」「病棟」「採血日」を記載 血液型との同時採血厳禁! 必ず別のタイミングで採血して下さい。	

※紙運用のため、電子認証ができません。輸血の際は、別紙「輸血用チェックシート」をご使用下さい。  
 輸血用チェックシートは必要項目をご記入の上、電子カルテにスキャン取り込み後に細胞療法部輸血管理室へ提出して下さい。後日、細胞療法部にて輸血実施入力、副作用入力を致します。

※電子カルテ端末復旧後、製剤オーダー入力をお願いします。

長崎大学病院 細胞療法部 輸血管理室 (内線7455、時間外 PHS 96850)





長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 12. 外注検査一覧 (2019年9月現在)

外注検査項目につきましては、イントラネットより検査部ホームページをご参照ください。

(<http://intranet.mh.nagasaki-u.ac.jp/intranet/kensa/index.html>)

## 13. 残余検体の取扱いおよび保存について

### 残余検体の取扱いについて

- 1) 残余検体の「業務への使用」は原則として「臨床検査を終了した残余検体（既存試料）の業務教育、研究のための使用について—日本臨床検査医学会の見解—」に則る。
- 2) 残余検体の「業務への使用」は原則としてプール化および/または匿名化して行うが、対応表を保有する匿名化の場合は、検査室管理主体の許可のもと使用する。また使用責任者は対象者の個人情報に関する守秘を保証する。
- 3) ここでいう「業務」とは精度管理、統計解析、基準範囲の設定、異常値検体の精査、新試薬と現有試薬の比較、測定法の改良および評価などを指す。なおこの中には臨床的有用性が確立された遺伝子関連検査も含む。
- 4) 「教育のための使用」は「業務への使用」に準じて処理・管理する。
- 5) 「研究への使用」は長崎大学病院臨床研究倫理委員会もしくはヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会の承認をもって処理・管理する。

### 測定後の検体の保存について

サテライト検査室においては提出された血漿あるいは血清検体を1週間、冷凍保存(-40℃)する。血液像標本は約1ヶ月間、骨髓像標本は約1年間保管する。血清検査室においては提出された血清検体を1週間、冷凍保存(-40℃)する。輸血管理室においてはクロスマッチ検査などに使用した検体を1週間冷蔵保存する。輸血前検体保存は2年間、冷凍保存(-30℃)する。微生物検査室においては検査に使用した検体を1週間冷蔵保存する。遺伝子検査において提出された検体については核酸抽出後、原則として1年間保存する。他の検査検体は原則として検査当日に破棄する。

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

## 14. ISO 認定項目について

項目	材 料	
1 尿・糞便等検査		
D000 尿中一般物質定性半定量検査		
尿中一般物質定性半定量検査(比重、pH、蛋白定性、グルコース、ウロビリノゲン、ビリルビン、ケトン体、潜血反応、試験紙法による尿細菌検査(亜硝酸塩)、試験紙法による白血球検査(白血球エステラーゼ)、アルブミン)	尿	
D001 尿中一般物質定性半定量検査		
尿蛋白	尿	
尿グルコース	尿	
アルブミン定量(尿)	尿	
尿浸透圧	尿	
N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(尿)	尿	
フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)(尿)	尿	
D002 尿沈渣(鏡検法)		
尿沈渣(鏡検法)	尿	
D002-2 尿沈渣(フローサイトメトリー法)		
尿沈渣(フローサイトメトリー法)	尿	穿刺液
D003 糞便検査		
糞便中ヘモグロビン	便	
D004-2 悪性腫瘍組織検査		
悪性腫瘍遺伝子検査(RAS・BRAF 遺伝子検査に係る遺伝子検査)	組織	
2 血液学的検査		
D005 血液形態・機能検査		
赤血球沈降速度(ESR)	血液	
網赤血球数	血液	
血液浸透圧	血清	
末梢血液一般検査(赤血球数、白血球数、血色素測定(Hb)、ヘマトクリット値(Ht)、血小板数)	血液	
末梢血液像(鏡検法)	血液	
末梢血液像(自動機械法)	血液	
ヘモグロビン A1c(HbA1c)	血液	
ターミナルデオキシヌクレオチシルトランスフェラーゼ(TdT)	血液	
骨髓像	その他	

項目	材 料	
造血管腫瘍細胞抗原検査	血液	
D006 出血・凝固検査		
出血時間	血液	
プロトロンビン時間(PT)	血漿	
フィブリノゲン定量	血漿	
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	血漿	
アンチトロンビン活性	血漿	
フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)定量	血漿	
プラスミノゲン活性	血漿	
プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	血漿	
Dダイマー	血漿	
フィブリンモノマー複合体	血漿	
凝固因子(第Ⅱ因子、第Ⅴ因子、第Ⅶ因子、第Ⅷ因子、第Ⅸ因子、第Ⅹ因子、第ⅩⅠ因子、第ⅩⅡ因子、第ⅩⅢ因子)	血漿	
プロテインC活性	血漿	
D006-3 Major BCR-ABL1 mRNA		
Major BCR-ABL1 mRNA	血液	
D006-10 CCR4 タンパク(フローサイトメトリー法)		
CCR4 タンパク(フローサイトメトリー法)	血液	
3 生化学的検査 I		
D007 血液化学検査		
総ビリルビン	血清	
直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	血清	
総蛋白	血清	
アルブミン	血清	
尿素窒素	血清	
クレアチニン	血清	
尿酸	血清	
アルカリホスファターゼ(ALP)	血清	
コリンエステラーゼ(ChE)	血清	
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)	血清	
中性脂肪	血清	
ナトリウム及びクロール	血清	
カリウム	血清	
カルシウム	血清	
マグネシウム	血清	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

項目	材料	
グルコース	血漿	
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	血清	
アミラーゼ	血清	
クレアチンキナーゼ (CK)	血清	
鉄 (Fe)	血清	
不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法)	血清	
HDL-コレステロール	血清	
無機リン(及びリン酸)	血清	
総コレステロール	血清	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	血清	
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	血清	
LDL-コレステロール	血清	
蛋白分画	血清	
アンモニア	血液	
グリコアルブミン	血清	
CK-MB	血清	
フェリチン定量	血清	血漿
KL-6	血清	血漿
心筋トロポニン T(TnT)定性・定量	血清	血漿
血液ガス分析	血液	
プロカルシトニン(PCT)定量	血清	血漿
4 生化学的検査Ⅱ		
D008 内分泌学的検査		
プロラクチン(PRL)	血清	血漿
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	血清	血漿
インスリン(IRI)	血清	血漿
C-ペプチド(CPR)	血清	血漿
卵巣刺激ホルモン(FSH)	血清	血漿
黄体形成ホルモン(LH)	血清	血漿
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	血清	血漿
遊離サイロキシシン(FT4)	血清	血漿
コルチゾール	血清	血漿
サイログロブリン	血清	血漿
脳性 Na 利尿ペプチド前駆体 N 端フラグメント (NT-proBNP)	血清	血漿
PIVKA-II 定量	血清	血漿
ヒト絨毛性ゴナドトロピン-β サブユニット(HCG-β)	血清	血漿
プロゲステロン	血清	血漿
副甲状腺ホルモン(PTH)	血漿	
エストラジオール(E2)	血清	血漿

項目	材料	
D009 腫瘍マーカー		
癌胎児性抗原(CEA)	血清	血漿
α-フェトプロテイン(AFP)	血清	血漿
前立腺特異抗原(PSA)	血清	血漿
CA19-9	血清	血漿
CA125	血清	血漿
可溶性インターロイキン-2 レセプター (sIL-2R)	血清	血漿
5 免疫学的検査		
D011 免疫血液学検査		
ABO 血液型	血液	
Rh(D) 血液型	血液	
Coombs 試験(直接, 間接)	血液	
不規則抗体	血液	
ABO 血液型亜型	血液	
D012 感染症免疫学的検査		
マイコプラズマ抗体半定量	血清	
梅毒血清反応(STS)定量	血清	
梅毒トレポネーマ抗体定量	血清	
アデノウイルス抗原定性(糞便)	便	
ロタウイルス抗原定性(糞便)	便	
クロストリジウム・ディフィシル抗原定性	便	
マイコプラズマ抗原定性(免疫クロマト法)	分泌液	
HTLV-I 抗体定性	血清	血漿
HIV-1,2 抗原・抗体同時測定定性		
A 群β 溶連菌迅速試験定性	分泌液	
カンジダ抗原定性	血清	
肺炎球菌荚膜抗原定性(尿・髄液)	尿	
RS ウイルス抗原定性	分泌液	
インフルエンザウイルス抗原定性	分泌液	
ノロウイルス抗原定性	便	
ヒトメタニューモウイルス抗原定性	分泌液	
アスペルギルス抗原	血清	
大腸菌 O157 抗原定性	便	
クリプトコックス抗原定性	血清	
アデノウイルス抗原定性(糞便を除く。)	分泌液	
(1→3)-β-D-グルカン	血清	
レジオネラ抗原定性(尿)	尿	
D013 肝炎ウイルス関連検査		
HBs 抗原	血清	血漿
HBs 抗体定量	血清	血漿
HBe 抗原	血清	血漿
HBe 抗体	血清	血漿
HCV 抗体定性・定量	血清	血漿
HBc 抗体半定量・定量	血清	血漿

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

項目	材料	
D014 自己抗体検査		
寒冷凝集反応	血清	
リウマトイド因子(RF)定量	血清	
抗核抗体(蛍光抗体法)半定量	血清	
マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)	血清	血漿
抗 SS-B/La 抗体定量	血清	
抗 SS-A/Ro 抗体定量	血清	
抗シトルリン化ペプチド抗体定量	血清	
抗好中球細胞質プロテイナーゼ3 抗体 (PR3-ANCA)	血清	
抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ 抗体(MPO-ANCA)	血清	
D015 血漿蛋白免疫学的検査		
C 反応性蛋白(CRP)	血清	
血清補体価(CH50)	血清	
免疫グロブリン (IgG, IgA, IgM, IgD)	血清	
C3	血清	
C4	血清	
非特異的 IgE 定量	血清	
$\beta$ 2-ミクログロブリン	血清	尿
レチノール結合蛋白(RBP)	血清	血清
Bence Jones 蛋白同定(尿)	尿	
免疫電気泳動法	血清	
D016 細胞機能検査		
B 細胞表面免疫グロブリン	血液	
T 細胞・B 細胞百分率	血液	
T 細胞サブセット検査	血液	

項目	材料	
6 微生物学的検査		
D017 排泄物、滲出物又は分泌物の 細菌顕微鏡検査		
蛍光顕微鏡を使用するもの	喀痰	穿刺液
その他のもの	尿	分泌液
D018 細菌培養同定検査		
細菌培養同定検査 (口腔・気道・呼吸器、消化管、血液・穿刺液、泌尿器・生殖器、その他)	喀痰	血液
嫌気性培養	分泌液	便
D019 細菌薬剤感受性検査		
細菌薬剤感受性検査	喀痰	分泌液
D019-2 酵母様真菌薬剤感受性検査		
酵母様真菌薬剤感受性検査	喀痰	便
D020 抗酸菌分離培養検査		
抗酸菌分離培養(液体培地法)	喀痰	穿刺液
抗酸菌分離培養(それ以外のもの)	喀痰	穿刺液
D021 抗酸菌同定検査		
抗酸菌同定	喀痰	穿刺液
D022 抗酸菌薬剤感受性検査		
抗酸菌薬剤感受性検査 (培地数に関係なく)	喀痰	穿刺液
D023 微生物核酸同定・定量検査		
結核菌群核酸検出	喀痰	穿刺液
マイコバクテリウム・アピウム及び イントラセラー(MAC)核酸検出	喀痰	穿刺液
D023-2 その他の微生物学的検査		
大腸菌ベロトキシン定性	便	

長崎大学病院 検査部・細胞療法部	検査部・細胞療法部ガイドブック	文書番号	版数
		PM-A-001-00	5

第1版	2016年 4月 (ISO15189に基づく制定)
第2版	2017年 2月
第3版	2017年 10月
第4版	2018年 4月
第5版	2019年 11月